



広島ガス

広島ガス 2016 CSR報告書

Corporate Social Responsibility Report

持続可能な社会をみつめて…



CONTENTS

1909年の創立以来、
炎が創る豊かで快適な暮らしをご提案しています。

ガス燈 広島県尾道市東御所

発行にあたって	1
CSR活動に対する広島ガスグループの基本的な考え方	2
TOP MESSAGE	3
トピックス① インフラ整備充実による安定供給への取り組み	5
トピックス② 環境にやさしい天然ガス・高効率機器の普及拡大	6
〈経営分野〉	
都市ガス事業フロー、供給区域と体制	7
都市ガスの安定供給への取り組み	9
お客さまの安心・安全に向けた取り組み	11
広島ガスグループの経営体制	13
2016年度～2018年度 中期経営計画	15
業績概要(連結)	17
〈環境分野〉	
環境保全活動の基本的な考え方	19
① お客さま先での環境負荷の低減	21
② 事業活動における環境負荷の低減	23
③ 地域環境保全への貢献	25
環境負荷低減フロー(2015年度実績)	26
環境目標および実績	27
環境会計	28
〈社会分野〉	
地域社会との関わり (芸術・文化振興、地域振興、スポーツ振興、教育支援)	29
情報発信	32
求める人材像「お客さま、地域社会、一緒に働く仲間から信頼される人材」	33
働きやすい職場環境づくりをめざして	34
お客さま満足度向上の取り組み	35
CSR報告書2016によせて	36
広島ガスの概要	37
広島ガスグループの概要	38

広島ガスCSR報告書2016

発行にあたって

企業は従来から、社会に対して製品やサービスの提供という本来業務に加え、環境保全、社会貢献などのさまざまな社会的責任(CSR: Corporate Social Responsibility)を果たしてきました。近年は、CSRを一つの指標として企業を評価するなど、CSR活動の重要性は一層高まっています。

当社は、2000年度からこれらの活動内容を経営分野と環境分野の両面から開示することを目的に、報告書を発行してきました。その後、2003年度には社会的側面も報告対象とし、2005年度版から、新たに表題を「CSR報告書」として「経営」、「環境」、「社会」の3分野で構成しています。

【報告対象】

【範囲】当社およびその関係会社からなる「広島ガスグループ」
【期間】2015年4月から2016年3月までの活動(一部、2016年度の実績を含む)。
本誌電子版および広島ガスグループ(主要子会社)の環境データをWebで公開しています。

http://www.hiroshima-gas.co.jp/com/ir/library/library_05.html

【参考ガイドライン】

- 環境省「環境報告ガイドライン(2012年版)」
- 「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン第4.0版(G4.0)」

CSR活動に対する広島ガスグループの基本的な考え方

広島ガスグループは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念のもと、地域の皆さまにエネルギーを安定的、かつ安心して安全にお使いいただくという、社会的責任の高い事業を行っています。その事業遂行こそが、大きな「社会的責任」であるとともに、お客さま先での便利で快適な生活や、エネルギーミックスの推進、地域活性化に貢献したいと考えています。

今後も持続可能な社会の実現へ向け、天然ガス・LPガスの「ガス体エネルギーの普及拡大」と「エネルギーの高度利用」を基軸とした事業展開を行うとともに、コーポレート・ガバナンスの充実、地域貢献活動などを通じ、お客さま・株主の皆さまをはじめとするすべてのステークホルダー（利害関係者）から信頼され、選択され続ける企業グループをめざします。

経営理念

「地域社会から信頼される会社をめざす」

広島ガスグループ 2020年ビジョンの 方向性

広島ガスグループは、2009年10月に、広島ガスグループ2020年ビジョン「Action for Dream 2020」を策定しています。

2020年ビジョンは、国や業界で描いた2030年、2050年といった超長期のガス事業のあり方も視野に入れ、広島ガスグループが2020年に向けたあるべき姿、ありたい姿に向けて持続的に発展していくための橋渡しと位置付けています。

《ビジョン基本方針》

- ①天然ガスなどのガス体エネルギーの普及拡大とエネルギーの高度利用を基軸として、低炭素社会の実現に貢献する。
- ②お客さま目線でのサービスのあり方を追求し、環境にやさしく快適な生活を創造し、お客さま価値の向上を図る。
- ③公正かつ透明で風通しのよい組織へ変革し、地域の好感度No.1の企業グループとなる。

温かく

- ◎人材を育む
- ◎環境を育む
- ◎お客さま・地域との関係を育む

広く

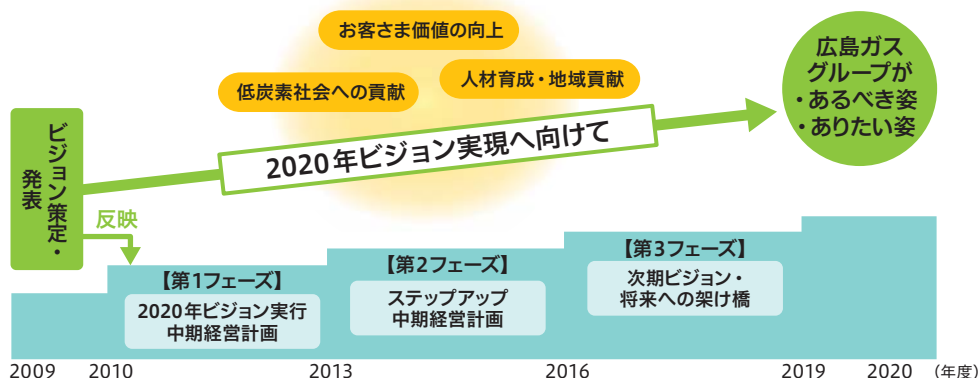
- ◎ガス体エネルギーの普及拡大（エリア・市場の拡大）
- ◎多様なエネルギーの提供

深く

- ◎エネルギーの高度利用
- ◎お客さまとの密なコミュニケーション
- ◎お客さまが望まれるサービスの提供

中期経営計画

広島ガスグループは、2020年ビジョン実現へ向け、2010年度から「2020年ビジョン実行中期経営計画」、2013年度から「ステップアップ中期経営計画」と位置付け、諸施策を実行してきました。2016年度からの中期経営計画第3フェーズでは、「次期ビジョン・将来への架け橋」というスローガンを掲げ、2020年ビジョンの基本方針を踏襲しつつ、エネルギー市場の自由化などの環境変化を好機ととらえ、持続的に発展していく企業グループをめざしています。



中期経営計画の概要については
→ P.15



代表取締役社長 社長執行役員

田 中 昭 浩

エネルギー供給企業としての社会的責任

広島ガスグループが果たすべき社会的責任とは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念に基づき、エネルギーの安定供給と保安の確保を柱とした事業活動を展開していくことであると考えています。

CSR(企業の社会的責任)には「経営」、「環境」、「社会」の3つの側面があります。広島ガスグループは、経営の側面では、エネルギーの安定的かつ安全な供給と外部環境の激しい変化に対応する経営計画の策定・実施を、環境の側面では、クリーンエネルギー天然ガスの普及拡大などの事業活動を、社会的側面では、社会貢献活動および的確・迅速な情報発信を推進しています。

廿日市工場棧橋機能拡大工事の完成と大型の標準船によるLNGの受け入れ開始

2012年から工事をすすめておりました廿日市工場の棧橋機能拡大工事が完成し、2016年2月から大型の標準LNG船による原料の受け入れを開始しました。これによるスケールメリットを活かした原料輸送コストの低減を図るとともに、原料の調達先についてもさらなる多様化を進めることが可能となり、今後もLNGの安定的な供給の継続に加えて、より安価な天然ガスをお客さまにお届けできるように努めてまいります。

安全で安定した都市ガス供給のためのパイプライン整備の推進と保安体制の充実

天然ガスの普及拡大と供給安定性の向上を図るとともに、ガス販売量の増大に対応するため、高圧幹線である広島湾岸幹線新設工事や、東広島市などにおけるパイプライン延伸工事を行っています。東広島市では市内中心部までガスを供給して、当該地域のお客さまにも都市ガスを使っていただけるようになりました。

保安の確保につきましては、ハード面において、耐震性の高いガス管であるポリエチレン(PE)管への取り替え、ガスの遮断と復旧を効率的かつ効果的に行うための導管網の小ブロック化の推

進を図り、ソフト面において、人材育成の充実、緊急措置訓練、技能競技大会などを通じて、現場力の強化を推進しています。

2016年4月に発生した熊本地震では、当社グループから39名を応援部隊として派遣しました。ガス業界では、災害などが発生した際に、ガス事業者が相互に支援する体制が構築されており、今後も、事業者ごとの取り組みだけでなく、事業者間の連携を維持・強化しながら、災害対応能力の向上を図ってまいります。

エネルギー市場の自由化に向けた対応

エネルギー業界を取り巻く環境は大きく変化しております。2016年4月から、電力の小売事業が家庭用も含めて全面自由化されました。2017年4月からは、ガスの小売事業についても全面自由化される予定です。

こうした中、お客さまとの接点の強化は、ますます重要になっています。当社では2015年7月、呉市に「ガストピア呉」をリニューアル、2015年9月に、広島市の東部エリアにガスショップ併設のショールーム「ガストピア安芸」をオープンし、そして2016年3月には、尾道市に「ガストピアおのみち」をリニューアルしました。これらのショールームが地域の皆さまの「憩いの場」となるよう運営に努めていくとともに、ガス機器の無償診断などを行う「ふれあい巡回」の継続や、機器メンテナンス体制の強化など、今後一層のお客さまサービスの充実を図ってまいります。

広島ガスグループは、エネルギー市場の自由化などの環境変化を好機ととらえ、ガス体エネルギーの普及拡大を図り、事業効率を高めるとともに、事業環境の変化を活かした新たな事業展開を視野に入れ、持続的に発展していく企業グループをめざしてまいります。

環境にやさしく快適な暮らしを

広島ガスグループでは、「環境負荷の低い天然ガスをはじめとするガス体エネルギーの一層の普及拡大」と「エネルギーの高度利用」を基軸とした事業活動を推進していくことで、地球環境に貢献してまいります。

業務用市場においては、CO₂の排出が少なく、環境にやさし

い天然ガスを選んでいただけるように種々の提案活動を行っております。今後も引き続き、分散型熱電併給システムであるガスコージェネレーションシステム、夏場の電力ピークカットができるガス空調などの普及促進を通じて、省エネルギーや省CO₂に加え、エネルギーセキュリティ向上やピーク時の電力負荷の削減に貢献してまいります。

また、家庭用市場においては、2015年に累計販売台数1,000台を突破いたしました家庭用燃料電池「エネファーム」をはじめとする省エネ機器の一層の普及促進を図ってまいります。マンション向けエネファームについても、広島県で初めて新築マンションへの設置が決まり、ますますの普及が期待されます。今後とも省エネルギーで環境にやさしいエネルギーシステムの普及拡大を通じて、エネルギーの高度利用に貢献してまいります。

これらの取り組みを通じて、お客さまに、環境にやさしく快適な暮らしをお届けしてまいります。

地域社会から信頼される会社をめざして

地域に根差した広島ガスグループが、持続的に発展していくためには、地域の活性化が不可欠であると認識しております。エネルギー供給の着実な遂行に加え、お客さまや地域の皆さまとのつながりやふれあいを大切にし、地域の芸術・文化、教育、スポーツ、環境分野などにおける社会貢献活動、情報発信に取り組んでまいります。こうした地域貢献を通じて、地域の活性化・発展の一助になればと考えています。

社内におきましても、コンプライアンス意識の徹底、リスクマネジメントの強化、広島ガスグループ会社間の人材交流の実施や風通しのよい職場環境の構築による公正かつ透明性の高い事業運営に努めてまいります。

広島ガスグループでは、引き続きグループ役職員の心をひとつに業務に精励し、「地域の好感度No.1企業グループ」として、すべてのステークホルダーの皆さまから信頼され、選ばれ続ける企業グループをめざしてまいります。

皆さまには、本報告書をご一読いただき、広島ガスグループの取り組みをご理解いただくとともに、忌憚のないご意見・ご感想をお聞かせいただければ幸いです。

2016年7月

インフラ整備充実による安定供給への取り組み

多くのお客さまへ環境にやさしい天然ガスをお届けするために

■ 廿日市工場の栈橋機能拡大工事の完成と大型の標準LNG船受け入れ開始

2012年に開始した廿日市工場の栈橋機能拡大工事は、2015年10月に完成しました。2016年2月から大型の標準LNG船による原料の受け入れを開始し、2016年4月から大阪ガス㈱からの標準LNG船による本格的な受け入れを行っています。

当社は、今後もLNGの安定的な受け入れを継続するとともに、さらなる都市ガスの安定供給と天然ガスの普及拡大に努めてまいります。



標準LNG船

【標準LNG船と小型LNG船との比較】

	標準LNG船(DWIPUTRA)	小型LNG船(SUN ARROWS)
総トン数	約105,000 t	約20,000 t
全長	272m	151m
全幅	47.2m	28m
LNG積載量	約125,000m ³	約19,100m ³

工事前



工事後

写真提供：国土交通省 中国地方整備局

【栈橋機能拡大工事、浚渫工事の前後の比較】

	設備	工事前	工事後
栈橋拡張	バース延長	247m	427m
受入設備 増強	ローディングアーム	10インチ	16インチ
	受入配管	1条	2条
浚渫	水深	8.5m	12m

■ パイプライン整備の充実と延伸

広島湾岸幹線新設工事

2013年2月から開始した広島市西区商工センターから広島市中区吉島までの総延長7,254mとなる「広島湾岸幹線新設工事Ⅰ期(高圧幹線)」および2016年1月から開始した広島市佐伯区から広島市西区商工センターまでの総延長1,713mとなる「広島湾岸幹線新設工事Ⅱ期(高圧幹線)」が順調に進んでいます。進捗率はⅠ期が約88%、Ⅱ期が約37%となっています(2016年3月現在)。



共同溝内工事



東広島市中心部へのパイプライン延伸工事

東広島市においては、2013年から広島大学東広島キャンパスに都市ガス供給を開始しており、市内中心部に向けてパイプラインの延伸を進めています。

今後ますますの発展が期待される東広島市で、環境にやさしい天然ガスをより多くのお客さまにお届けしてまいります。



東広島芸術文化ホールくらら(都市ガスご採用)



東広島市中心部ガス管理設工事

■お客さまとの接点機会の充実

当社では、2015年度に3カ所のカストピア（ショールーム）の新設・リニューアルを行いました。
今後も、さらなるお客さま接点機会の充実を図っていきます。

ぜひ最寄りの
カストピアに
お越しください。

《カストピア呉》

2015年7月
リニューアル

《カストピア安芸》

2015年9月
新設

《カストピアおのみち》

2016年3月
リニューアル

*所在地などはP.37をご参照ください。

■環境にやさしい家庭用燃料電池「エネファーム」の普及拡大

◎エネファームとは

「エネファーム」は、天然ガスなどから取り出した水素と空気中の酸素の化学反応で発電し、その際発生する熱を利用してお湯をつくります。従来型給湯器によるシステムと比べて、CO₂排出量を標準家庭で年間約1.2t抑える発電効率が高い最先端の発電・給湯暖房システムです。



◎マンション向けエネファームの採用

当社は、2014年12月からマンション向けエネファームの採用について提案活動に取り組んだ結果、2016年4月に広島県で初めて採用が決定しました。

当社は、マンションにおける効率的なエネルギー利用の貢献にも努めてまいります。

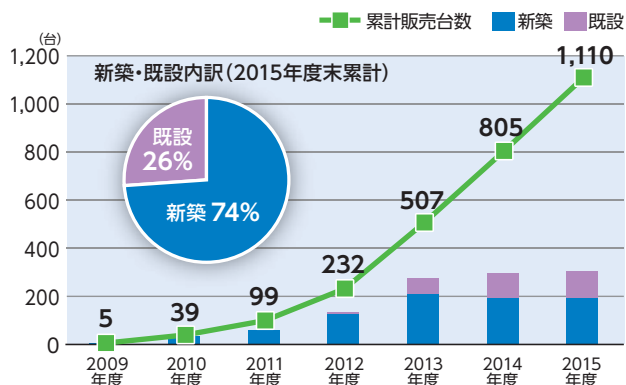


◎エネファーム累計販売台数1,000台達成

当社は、2009年の販売開始以来、ハウスメーカーや工務店などに販売活動を展開し、新築住宅を中心に採用いただき、2012年からは、既設住宅のお客さまにも導入いただいた結果、約7年で累計販売台数1,000台を達成することができました。

今後も一層エネファームの普及に取り組み、お客さまの快適な暮らしと省エネ・省CO₂に貢献いたします。

【エネファームの販売実績の推移（設置ベース）】



◎エネファームの補助金（2016年度）

補助金額（定額）	基準価格以下	追加補助対象	追加補助金額
固体高分子形（PEFC）	15万円	建物区分：既築	+3万円
固体酸化物形（SOFC）	19万円	燃料種類：LPガス	
		システム仕様：寒冷地仕様	

・募集期間…2016年4月11日～2017年1月31日

*詳細はFCA（燃料電池普及促進協会）のホームページをご参照ください。

	補助金額	募集期間
広島市	5万円/台 × 150台	2016年5月16日～2017年1月31日
呉市	5万円/台 × 80台	2016年4月27日～2017年1月31日
三原市	10万円/台 × 20台	2016年4月12日～2017年1月31日
東広島市	15万円/台 × 20台 ※HEMS（ホームエネルギー マネジメントシステム） 設置必須	2016年4月11日～2017年2月28日

*詳細は各市のホームページをご参照ください。

経営分野

エネルギーの安定的かつ安全な供給、継続的な企業価値の向上をめざし、事業基盤の強化を図るとともに、経営の健全性・透明性の確保に努めていきます。

都市ガス事業フロー

原料の調達・輸送

原料となる天然ガスは、海外で採掘され、冷却(約 -160°C)・液化し、LNG(液化天然ガス)として輸送



ロシア・プリゴロドノエ基地

【天然ガス採掘】

【LNG船】



都市ガスの製造

LNGは、LNG貯槽に受け入れ、需要量に応じて気化した後、熱量調整などを行い、都市ガスとして送出



サガミ工場

【ピットイン式LNG貯槽】

【LNG気化器】



供給区域と体制

(2016年3月末現在)

供給区域(広島県内6市4町)

広島市、呉市、尾道市、三原市、廿日市市、東広島市、安芸郡海田町・坂町・府中町・熊野町

お客さま戸数

408千戸

広島地区

お客さま戸数

343千戸



本社



廿日市工場



可部事業所



可部事業所

本社



海田基地



東広島製造所

東広島製造所

熊野事業所

呉地区

お客さま戸数

48千戸



呉支店

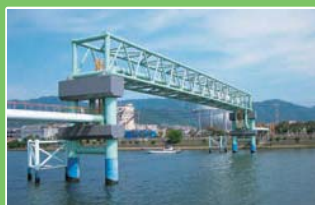


熊野事業所

都市ガスの供給

お客さま先で

地中に埋設した5,070kmの
導管(本支管・供給管)を通じて、
お客さま先まで供給



ガス管橋

【ガスホルダー】



お届けした都市ガスは、さまざまな用途でご利用



工場など

【工業用】



ホテル・ビル・学校など

【商業用】



厨房・給湯など

【家庭用】



広島県



備後工場

卸供給 (広島ガス)

連結子会社である
瀬戸内パイプライン
株式の設備を活用した
卸供給



水島ステーション
(瀬戸内パイプライン株式)



水島LNG基地
(水島エルエヌジー株式)

岡山県

水島ステーション
水島LNG基地

福山ガス株式

備後工場

三原営業所

尾道支店

尾道・三原地区

お客さま戸数

17千戸



三原営業所



尾道支店

凡例

供給区域 (広島地区)		ガスホルダー	
供給区域 (呉地区)		ガス製造所	
供給区域 (尾道・三原地区)		本社・支店 事業所・営業所	
幹線 (広島ガス)		検討中幹線	
		幹線 (瀬戸内パイプライン)	

都市ガスの安定供給への取り組み

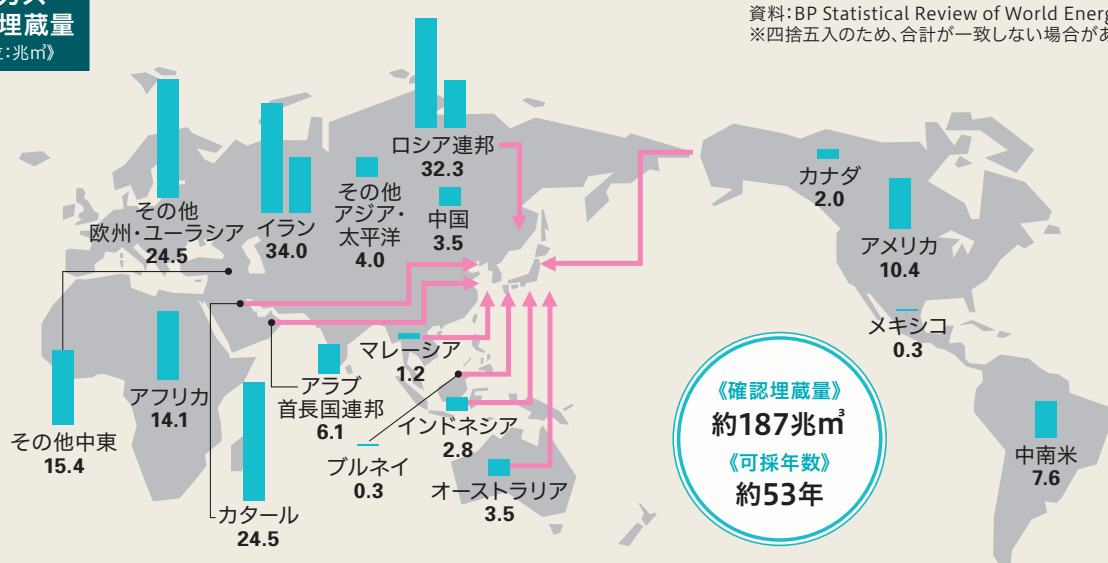
都市ガスは、電気・水道と並び、地域を支える重要なライフラインの一つです。その都市ガスを安定的に供給することが、当社の大きな「社会的責任」であると考えています。そのため、原料であるLNGの調達・輸送から都市ガスの製造・供給に至るまで、国際情勢、エネルギー市場の動向および業界の動きなどを注視しながら、さまざまな施策を講じています。

都市ガスの原料

都市ガスの主な原料「天然ガス」は世界各地に豊富に存在し、可採年数は約53年と言われ、中東地域以外からも確保が可能なエネルギーです。わが国の都市ガス事業者は、主に環太平洋諸国から長期契約に基づいて液化天然ガス（LNG）を輸入し、安定供給に努めています。

天然ガス 確認埋蔵量 《単位：兆m³》

資料：BP Statistical Review of World Energy 2016
※四捨五入のため、合計が一致しない場合があります。



LNG安定調達に向けた取り組み

▶ LNG調達先の多様化と標準LNG船の受入開始

近年、世界的規模で天然ガス需要は拡大していますが、当社においても都市ガスの需要増に対応するため、LNG調達先の多様化を図っています。2016年以降の原料調達は、従来からの調達先であるロシア（サハリンⅡプロジェクト）に加え、大阪ガス（株）（2014年7月LNG売買契約締結）、マレーシアLNG社（2015年9月LNG売買契約締結）から、年間約40万トン进行調達することが可能となっています。

なお、棧橋機能拡大した廿日市工場において、大阪ガス（株）とのLNG売買契約に基づき、4月に標準LNG船でLNGを受け入れました。今後とも、LNGの安定的な受け入れを継続するとともに、標準LNG船と小型LNG船を併用して効率的な運航を図っていきます。

【2016年以降の原料調達】

調達先	年間契約数量	契約期間
サハリン	最大21万t	2008年4月～2028年3月
大阪ガス	約5～13万t	2016年1月～2031年3月
マレーシア	約10万t	2016年4月～2026年3月
合 計	約40万t	※年度により変動



標準LNG船によるLNG受入

▶ 中国電力（株）との相互協力協定

地域における効率的かつ安定的な天然ガス普及を図るため、LNGの調達において、中国電力（株）と相互協力協定を2006年6月に締結しています。

都市ガスの製造

廿日市工場、備後工場、東広島製造所で都市ガスを製造しており、LNGの受け入れ、ガスの製造などについては、中央制御室で集中的にコントロールしています。

また、毎日の設備点検、定期的な保守や有事に備えた訓練を行うことで、安全かつ効率的に都市ガスを製造する体制を整えています。



中央制御室



廿日市市消防本部との合同訓練

都市ガスの供給

保安指令センターでは、工場で製造した都市ガスをお客さまのもとへ安定してお届けするため、都市ガスの圧力、輸送状況などを常時監視しています。

また、緊急時に備えて、夜間・休日でも迅速に対応できるよう24時間受付、出動できる体制を整えています。



保安指令センター



保安車両

天然ガス供給体制の拡大

▶ 水島ステーションおよび導管を活用した卸供給

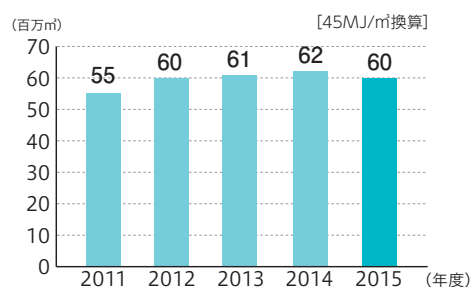
連結子会社である瀬戸内パイプライン(株)は、水島LNG基地から天然ガスを受け入れ、熱量調整などを行う設備「水島ステーション」および水島－福山間の導管(約40km)により、広島県東部などへの天然ガス供給体制を整備しています。これらを活用し、当社は福山ガス(株)に卸供給を行っています。



水島ステーション

【ガス販売量(卸供給*など)】

*他ガス事業者への供給分。



総合エネルギー企業に向けて

当社は、天然ガスの普及拡大だけでなく、自社電源を拡充し総合エネルギー企業になることで持続的な発展をめざしています。その取り組みの一つとして、当社海田基地内を候補とし、バイオマス混焼発電所の事業可能性について中国電力(株)と共同で検討を進めています。

【検討中の発電所概要】

発電出力	11.2万kW(発電端)
使用燃料	バイオマス、石炭、天然ガス(助燃・バックアップ)

お客さまの安心・安全に向けた取り組み

地震災害時などに備えたさまざまな対策を実施するとともに、災害発生時には迅速かつ適切に対応します。

地震防災対策3つの柱

いつでも安心して、ガスをお使いいただくために「設備対策」、「緊急対策」、「復旧対策」の3段階の対策に取り組んでいます。

設備対策

ガスをお届けする設備は高い耐震性を備えています。

緊急対策

速やかにガスの供給を停止し、二次災害を未然に防ぎます。

復旧対策

安全かつ速やかにガスの供給を再開します。

▶ 設備対策

地震による被害を最小限に抑えるため、製造設備からお客さまに都市ガスをお届けするガス導管に至るまでさまざまな対策を実施しています。

《 LNG貯槽 》



貯槽タンクは地下に構築した外壁の厚さが2m以上のコンクリートピット内に据え付けられ、内部のLNG液面は地表よりも低く、万一の場合でも漏れ出すことはありません。

《 高圧・中圧導管 》



高い圧力のガスを輸送する導管には、耐震性に優れ、大きな地盤変動にも耐える「溶接接合鋼管」を使用しています。

《 ガスホルダー 》



基礎部分は地中深くの支持地盤まで杭が打ち込まれています。その基礎上に支柱と球体を設置し、大地震にも耐えられるよう設計・施工しています。

《 低圧導管 》



お客さまのご家庭にガスをお届けする導管には、耐震性、耐腐食性に優れた「ポリエチレン管」などを使用しています。

▶ 緊急対策

地震が発生した場合、二次災害を防ぐため、緊急停止判断基準によりあらかじめ定めた区域(ブロック)ごとにガスの供給を停止します。

【ブロック化】

被害の大きい区域だけ遠隔操作によりガスの供給を停止し、被害のない区域にはガスの供給を継続するため、導管網をブロック化しています。

また現在、ブロックをさらに細分化した小ブロック化を推進しています。2019年をめどに現在の26ブロックを45ブロックにする計画です。

⚠ 供給停止ブロックと地震計配置図



緊急停止判断基準

【第一次緊急停止】

地震計のSI値*が60カイン以上の揺れを感知した場合は、ブロック化した範囲をただちに緊急遮断装置を遠隔操作で遮断し、ガスの供給を停止します。

【第二次緊急停止】

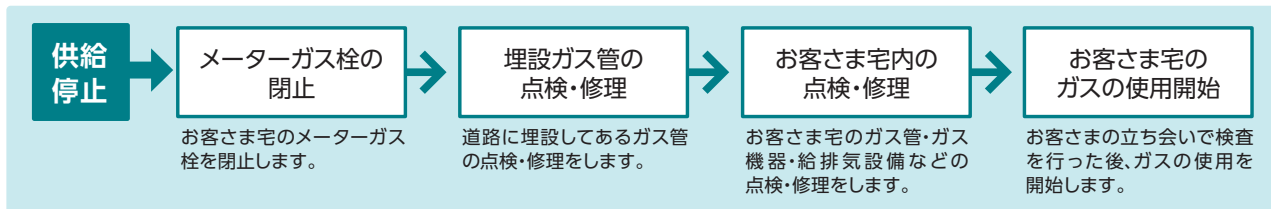
地震計のSI値が30カイン以上60カイン未満の場合は、ガスの圧力や流量の急激な変動を確認するとともに緊急巡回点検を行い、緊急にガスの供給を停止する必要がある場合は、第一次緊急停止と同様な措置を行います。

※SI値: Spectrum Intensity の略で、地震によって一般的な構造物がどれくらい大きく揺れるかを表す指標です。SI値が大きいほど構造物は大きく揺れることになります。

▶ 復旧対策

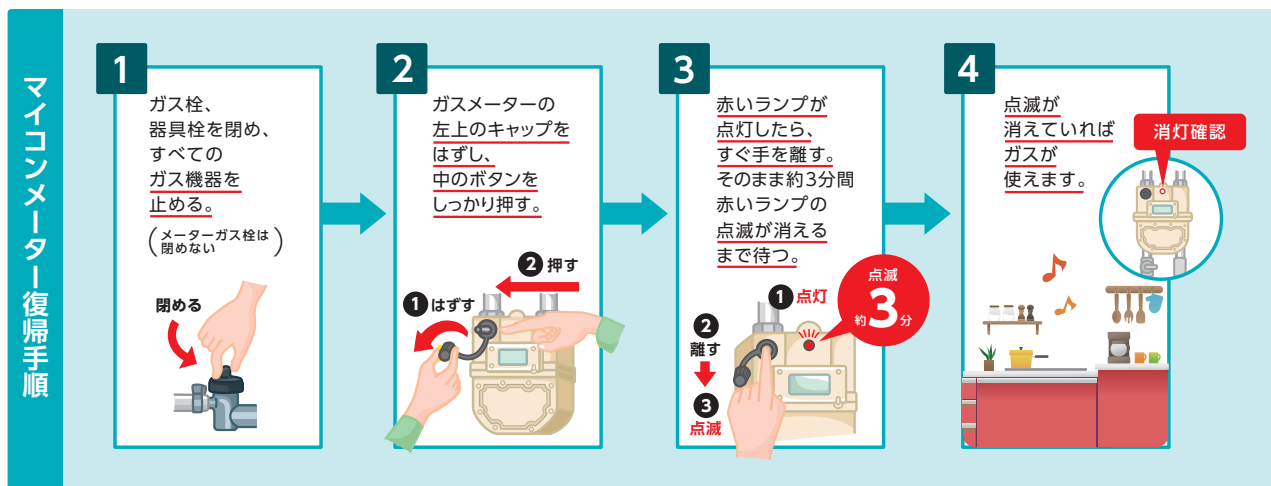
やむを得ずガスの供給を停止した場合、1日も早い「ガスの復旧」に向けての作業を下記の手順で行います。

【復旧作業の手順】



お客さま先での安心・安全対策

お客さまのガス設備に対する法定保安点検の確実な遂行や、ホームページなどを通じた安全周知の強化に努めるとともに、安全型機器への取替活動を推進します。また、お客さま宅にはガス使用中に震度5相当以上の地震を感知した場合、自動的にガスを遮断するマイコンメーターを設置しています。当社では例外を除き、16号以下のガスメーターにはこのマイコンメーターを設置しています。



保安対策の取り組み

工事品質や各々の保安レベルの維持・向上のため、「内管・本支管技能コンクール」や「保安技能競技大会」などを開催しています。お客さまの安心・安全を守ることは、ガス事業者としての使命でありますので、このような取り組みを推進していくことによって、さらなる保安レベル・現場力の向上をめざしています。



内管・本支管技能コンクール



保安技能競技大会

熊本地震の復旧支援

2016年4月14日以降断続的に発生した熊本地震では、(一社)日本ガス協会中国・四国部会からの要請を受け、広島ガスグループは39名の復旧支援隊を派遣しました。4月21日から順次派遣し、全国から集まった他の事業者とともに復旧作業に従事しました。

余震も頻発する厳しい環境でしたが、熊本の皆さまに1日も早くガスをお使いいただきたいという強い使命感を持って作業に従事した結果、当初予定の5月8日より1週間以上早い4月30日に復旧完了を果たしました。



導管修繕作業



開栓作業

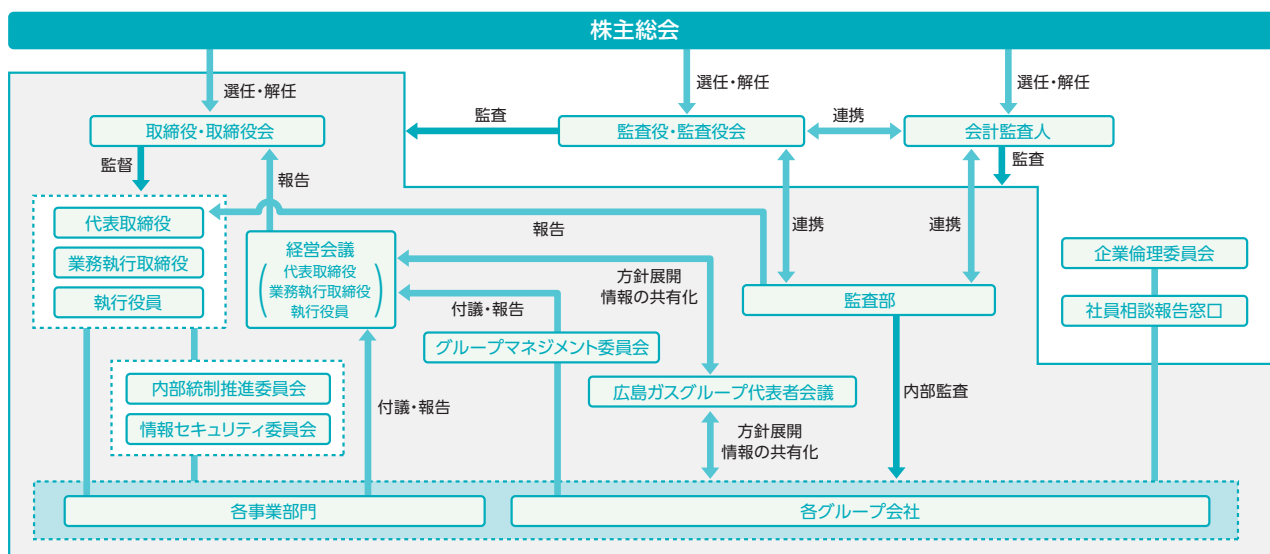
広島ガスグループの経営体制

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

▶ 健全で透明な企業経営を行い、お客さま・地域社会・株主の皆さまの信頼にお応えします

広島ガスグループは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念のもと、継続的な企業価値の向上を図るべく、経営の健全性・透明性の確保に向けた実効性あるコーポレート・ガバナンスの充実に取り組んでいます。

▶ コーポレート・ガバナンス体制[概略図]



▶ 経営組織の構造

経営管理体制

取締役会は、社外取締役4名を含む11名で構成され、原則として毎月1回、また必要に応じて開催しています。取締役会においては、業務執行に関する会社の意思決定を行うとともに、業務執行権限のある取締役および執行役員の業務執行状況を監督しています。また、グループ会社の経営状況の報告も行われ、経営全般の監督を行っています。

経営会議は、取締役兼任執行役員6名、常勤監査役2名、執行役員7名で構成され、原則として月2回、また必要に応じて開催し、経営にかかる重要な事項について協議・決定しています。また、グループマネジメント委員会からグループ会社の業務の執行状況および経営状況の報告を受け、グループ各社の経営の監督を行っています。

2016年6月24日現在

監査体制

監査役会は、社外監査役2名を含む4名で構成され、各監査役は、監査役会が定めた監査方針および監査計画などに基づき実施する調査や取締役会などの重要な会議へ出席し、業務および財産の状況調査を通じて、取締役の職務の執行を監査しています。また、子会社については、必要に応じて子会社から事業の報告を求めるとともに、業務および財産の状況を調査しています。

監査部は年間監査計画などに基づき、業務活動が法令、内部規程などに則り適正かつ効率的に実施されているかを監査し、その結果を社長、監査役および総務部などに報告するとともに、社内組織に助言・勧告を行っています。

また、監査役、会計監査人および監査部は、監査方針および監査報告などについて定期的に会合を持ち、意見交換などを行うことにより、相互の連携を高めています。

2016年6月24日現在

内部統制

▶ 内部統制システムの構築に関する基本方針

広島ガスグループの事業は、都市ガス、簡易ガスおよびLPガスのベストミックスによる安定的かつ安全なエネルギー供給を含む適正なサービスの提供を使命とする極めて高い公共性と社会的責任を有しているものと考えています。

この社会的使命を遂行し、お客さま、株主、投資家、従業員などのすべてのステークホルダーの信頼に応え、継続的な企業価値の向上を図るため、「広島ガスグループの業務の適正を確保するための体制(内部統制システム)の整備に関する基本方針」を2006年5月に取締役会で決議し、2009年10月に見直しを行い、それに基づいて、リスクマネジメント・コンプライアンス活動を推進しています。

広島ガスグループのリスクマネジメント・コンプライアンス体制

経営理念「地域社会から信頼される会社をめざす」を実現するため、右記のようなリスクマネジメント・コンプライアンス体制を構築し、グループ役職員が法令や社会的規範を遵守し、良識ある公正な行動により、良き企業市民として地域社会から支持されることをめざしています。

▶ 行動規範の策定

職務執行の基準となる行動規範（各種の「業務規程」や「広島ガスグループ社員行動指針」など）を策定し、適正な業務遂行に役立てています。

▶ 継続的な教育

定期的にコンプライアンス教育および意識調査を実施することにより、広島ガスグループ役職員にコンプライアンス意識を根付かせ、法令違反などを許さない企業風土を醸成しています。さらに、イントラネットを利用した「内部統制掲示板」や「グループ広報誌（GASLAND）」を通じた情報の発信や「広島ガスグループ社員行動指針」、「コンプライアンスカード」の配布など、リスクマネジメント・コンプライアンス意識の維持・向上に努めています。

▶ 推進体制

リスクマネジメント・コンプライアンス推進のための担当部署として、内部統制推進部を設置（2016年4月の組織変更により総務部に機能を移管）するとともに、内部統制推進委員会やグループマネジメント委員会を設置し、各部門で実施しているリスクマネジメント・コンプライアンス施策の推進状況を管理しています。また、社長および2名の社外弁護士からなる企業倫理委員会を設置し、コンプライアンス施策の決定ならびに制度の運用状況の把握と是正策について協議する体制を整備するとともに、広島ガスグループの社員が、直接、企業倫理委員会の委員などに相談・報告することができる「社員相談報告制度」を導入し、自浄機能の強化を図っています。

▶ 各種リスクへの対応

【自然災害などによるリスクへの対応】

ガス供給の安定性・安全性を阻害するような大規模な自然災害などによるリスクに対しては、あらかじめ規程化している「地震等防災対策要領」に従い、災害・事故発生時の緊急情報連絡体制・指揮命令体制などを整備しており、定期的な想定訓練を実施し、被害拡大の最小化を図っています。

【情報漏洩などによるリスクへの対応】

情報漏洩などによるリスクに対しては、「情報セキュリティポリシー」に従って、情報セキュリティ委員会を中心とした体制を構築し、個人情報の取り扱いに関する社内啓蒙活動をはじめ、情報漏洩事故の発生防止に努めるとともに、発生時における情報開示などのあり方についても規程化し、機動的な対応を図っています。

【業務遂行上に発生するリスクへの対応】

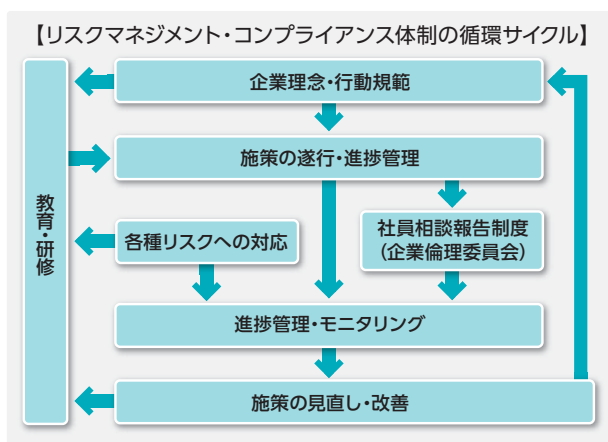
業務遂行上に発生するリスクに対しては、各部門ごとにリスクを識別・分析・評価し、対策案を作成・実施することにより、対策を図っています。また、リスク発生時には、総務部や内部統制推進委員会が中心となって、迅速な問題解決を図るとともに、リスク発生要因などを分析し、再発防止を図っています。

▶ モニタリング体制

グループ内部監査を実施するため、社長直轄の組織である監査部を設置し、当社各部門およびグループ各社の業務実態などについて、監査スケジュールに基づいた監査を実施しています。また、業務遂行におけるセルフチェック機能の強化を図るため、CSA活動（自己統制評価活動）への継続的な取り組みを実施しており、部門ごとに「セルフチェックリスト」を作成・評価し、その評価結果をもとに監査部による往査を実施しています。

▶ グループ各社との連携

「グループ人事交流方針」を策定し、この方針に基づいたグループ各社間での人事交流を実施することにより、リスクマネジメントや連携の強化を図っています。また、グループ各社への監督機能の強化を図るため、グループマネジメント委員会を設置し、グループ各社より「広島ガスグループ会社運用規程」に基づいて上程される業務執行に関する事案について事前に審議を行うなど、対策を図っています。



2016年度～2018年度 中期経営計画

2009年10月末に策定した2020年に向けたグループ経営ビジョン「Action for Dream 2020」実現のため、2010年度からの3カ年をビジョン実現に向けたアクションプランを実行する期間、2013年度から3カ年はさらなるステップアップを図る期間と位置付け、諸施策を実行してきました。

2016年度中期経営計画では、エネルギー市場の自由化などの環境変化を好機ととらえ、ガス体エネルギーの普及拡大を図り、事業効率を高めるとともに、事業環境の変化を活かした新たな事業展開の検討を推進し、持続的に発展していく企業グループをめざしていきます。



経営方針

ガス体エネルギー（天然ガス・LPガス）の普及拡大、エネルギーの高度利用を通じ、省エネ・省CO₂およびエネルギーセキュリティの向上に貢献する。

- 既存供給区域内の深耕のみならず、周辺地区を中心とした供給区域外を含めた広域圏の需要開発の推進
- 都市ガスとLPガスの連携を強化し、効率的な営業活動を展開し、お客さま接点業務を充実
- 天然ガスの普及拡大、供給安定性の向上に資するインフラ整備について、中長期的な視点で設備形成を実施

お客さま目線でのサービスのあり方を追求するとともに、環境にやさしく安心・安全で快適な暮らしを創造し、お客さま価値の向上を図る。

- 電気や熱を含めたマルチエネルギー供給、再生可能エネルギーの普及拡大、エネルギー供給周辺業務を基軸としたサービスの充実、価格競争力のある料金メニューの構築により、お客さま価値、エネルギーシェアを向上
- エネルギーの安定供給、保安レベル・お客さまサービス品質の維持・向上など、エネルギー供給を担う企業グループとしての役割を確実に遂行
- 地震・津波・防災対策について、国・自治体の防災対策との連携も視野に入れた効果的な施策を、優先度を勘案して実施

エネルギー市場自由化に向け適切な対応を図り、新たな事業展開を検討・実施する。

- ガスシステム改革の動向を踏まえ、小売全面自由化を視野に入れた料金・サービスなどの営業施策や新制度に適用した約款類・体制の整備などを検討・実施
- 既存事業との相乗効果も視野に入れ、総合エネルギー企業としての発展に資する新たな事業展開を検討・実施

公正かつ透明で風通しのよい組織へ変革し、地域の好感度No.1企業グループをめざす。

- グループ経営管理やコーポレート・ガバナンスの強化を推進し、健全な企業運営の推進に向け、リスク対応を強化
- コンプライアンスの推進とリスクマネジメント活動の推進
- 人権啓発活動、コミュニケーションの強化などによる働きやすい職場環境づくり、組織の活性化を推進

従業員の能力・やりがいを高め、グループの成長を担う人材の育成を推進する。

- 人材育成・開発、モチベーション向上策などにより、人材・組織を活性化
- 現場力の強化、専門性の高い人材の育成、技術・技能伝承の推進

グループ全体の収益性と健全性を高め、強靱な企業グループを構築するとともに、持続的な発展をめざす。

- エネルギー市場の自由化も踏まえた施策原資の確保に資する、経営資源の効率的かつ効果的な活用に向けた取り組みの推進
- エネルギー市場の自由化を視野に入れたグループ機能・組織・業務のあり方と新たな事業展開検討の推進

ガス需給計画

(45MJ)/m³換算)

			実績	計画			
			2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	3年間平均伸び率
お客さま戸数(年度末)			408千戸	407千戸	407千戸	407千戸	▲0.1%
ガス販売量 (百万m³)	家 庭 用		100	104	104	105	1.9%
	業 務 用	商 業 用	43	45	48	49	3.8%
		工 業 用	242	260	277	281	4.8%
		そ の 他	36	38	38	38	2.4%
	合計(卸供給など除く)		422	449	469	474	3.9%
	卸 供 給 な ど		60	58	58	58	▲1.0%
	総 合 計		483	507	527	533	3.3%

注) 端数処理の関係上、各項目の合計値は一致しない場合があります

▶ 家庭用

給湯暖房システムや暖房器などのガス機器拡販およびお得な家庭用選択約款の普及拡大を図るとともに、都市ガスとLPガスの協働営業による効率的な営業活動を展開することなどにより、家庭用販売量の維持・増量に努めていきます。

新築および既設住宅リフォームのお客さまには、環境性・省エネ性の優位性を積極的にご提案することにより、集合住宅用を含む家庭用燃料電池エネファームなどの普及促進を図っていきます。

また、お客さま満足度の向上を図るため、ガス機器修理体制の強化に取り組むとともに、「ふれあい巡回」を継続して実施するなど、

お客さまとの接点強化とサービスの向上に取り組んでいきます。

さらに、東広島をはじめとする未普及地区や低普及率地区への営業強化などにより、供給区域・商圏の拡大を検討・実施していきます。

これらの取り組みをグループ各社が連携して推進していきます。

【家庭用重点機器販売目標(2016年度)】

給湯暖房システム	4,313台
暖房器	3,805台
エネファーム	585台

▶ 業務用

環境性に優れ、電源の分散化の視点からも注目される天然ガスの普及拡大に向け、省エネ・省CO₂のご提案などお客さまニーズに沿った営業活動の推進により、新規物件の獲得を進めるとともに、既設物件の計画的なリニューアル営業を展開していきます。また、未普及地区や供給区域外も含めた広域圏での新規需要開拓について検討を進めていきます。

設備投資計画

天然ガスの普及拡大に対応し、安定供給体制を確保するため、中長期的な視点で製造設備および供給設備の増強・改修・入替など、製造・供給インフラの整備を計画的・効率的に行っていきます。

【設備投資計画】

(単位：億円)

	実績	計画			
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	3年間合計
製造設備	28	8	4	2	16
供給設備	53	55	48	63	167
業務設備など	12	16	17	7	40
合 計	94	80	70	73	224

注) 端数処理の関係上、各項目の合計値は一致しない場合があります

保安対策の強化

お客さまに安心してガスをご利用いただくため、ガス事故防止に向けた保安対策を計画的に実施するとともに、製造・供給設備の経年劣化・災害対策を効率的かつ効果的に推進します。

項目	具体的内容
(1) 経年本支管対策の強化	● ガスを安全かつ安定的にお届けするため、白ガス管の入替工事を計画的に実施
(2) 給排気設備の改善、安全型機器への取替促進に向けての対策	● 消費段階での事故防止の観点により、法定点検・安全周知の強化に努めるとともに、給排気設備の改善および安全型機器への取替活動を推進
(3) 業務用厨房における保安対策の強化	● 業務用厨房などにおける一酸化炭素中毒事故の防止をめざし、「業務用換気センサー」の設置を推進
(4) 地震・防災対策の検討・実施	● 行政や業界の対応・検討状況も注視しながら、当社としての重要度・優先度を勘案して、効果的な防災対策を検討・実施

エネルギー市場自由化に向けた対応

2017年に予定されているガス小売全面自由化の実施に備え、保安と安定供給の確保を前提に、新しい制度に適応した体制の構築と各種約款類などの整備を検討します。また、お客さまの新たなニーズに対応し、選択し続けていただけるよう、料金・サービスなどの営業施策を検討・実施していきます。

さらに、既存事業との相乗効果を図るべく、発電事業をはじめとする電力事業の検討を継続し、総合エネルギー企業としての発展をめざします。

業績概要(連結)

6期ぶりの減収、4期連続の経常利益増益

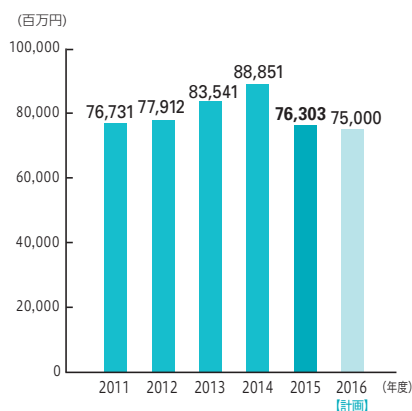
2015年度の連結売上高につきましては、原料費調整制度に基づく販売単価の低下などにより、前期に比べ12,548百万円(14.1%)減少の76,303百万円となりました。

利益につきましては、経常利益は前期に比べ1,075百万円(22.9%)増加の5,775百万円、親会社株主に帰属する当期純利益※は901百万円(32.8%)増加の3,647百万円となりました。

※2015年度より、「当期純利益」を「親会社株主に帰属する当期純利益」としており、2014年度までの当期純利益についても科目を統一しています。

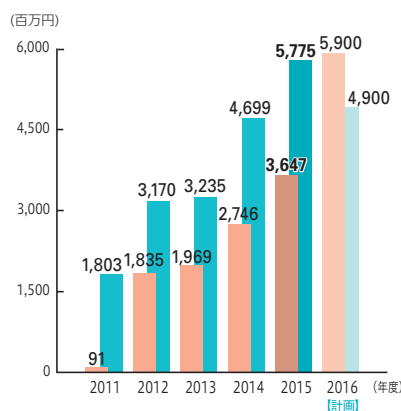
▶ 収支状況

● 売上高



● 利益

■ 経常利益 ■ 親会社株主に帰属する当期純利益



● 事業別セグメント情報

【2015年度】

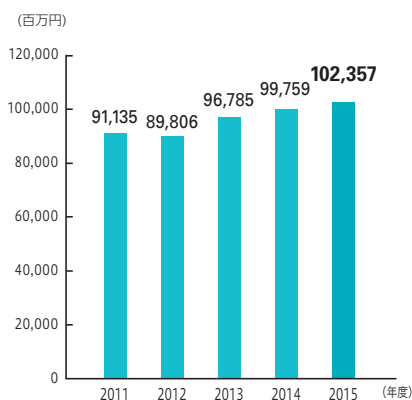
(単位:百万円)

	売上高	営業利益
ガス事業※	61,802 (△13.6%)	4,341 (21.9%)
LPG事業※	13,810 (△15.5%)	609 (74.4%)
その他※	3,721 (△5.0%)	△72 (—)
調整額※	△3,031	597
連結	76,303 (△14.1%)	5,475 (33.2%)

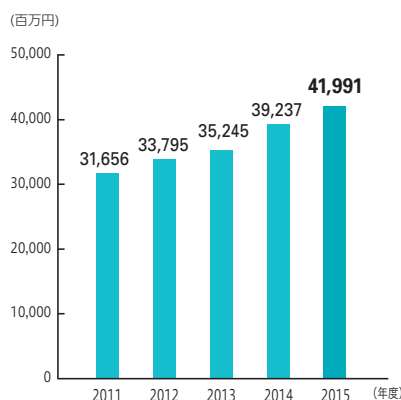
※各セグメントの数値は百万円未満を切り捨てのため各項目の総額がセグメント毎の合計と一致しない場合があります。
注) ()内は対前期比です。

▶ 財政状況

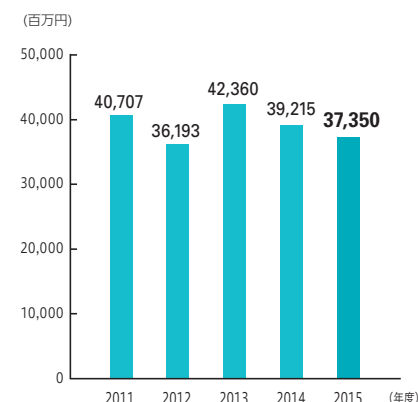
● 総資産額



● 純資産額



● 有利子負債残高

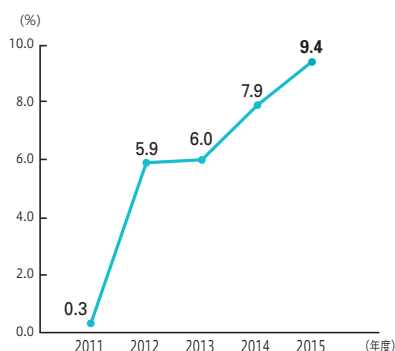


▶ 各事業に属する主要な製品の名称 → P.38

ガス事業……………都市ガスの製造・供給および販売、他ガス事業者などへの卸供給など
LPG事業……………LPガスの販売、LPガス充填業務、LPガス機器の販売など
その他……………管工事を中心とした建設工事、エンジニアリング事業など

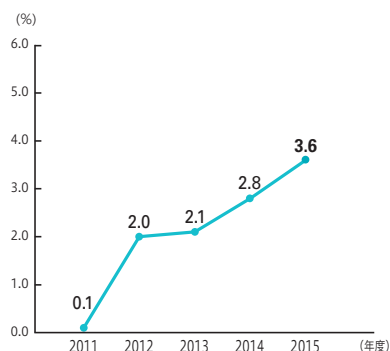
▶ 主な指標

● 自己資本利益率 (ROE)



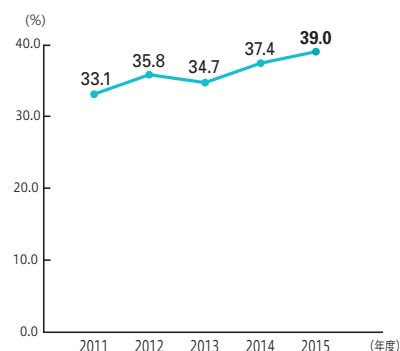
$$\text{自己資本利益率 (ROE)} = \frac{\text{当期純利益}}{\text{平均自己資本}} \times 100$$

● 総資産利益率 (ROA)



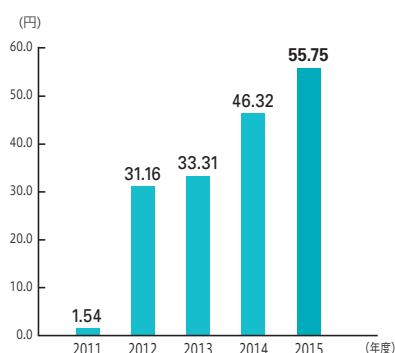
$$\text{総資産利益率 (ROA)} = \frac{\text{当期純利益}}{\text{平均総資産}} \times 100$$

● 自己資本比率



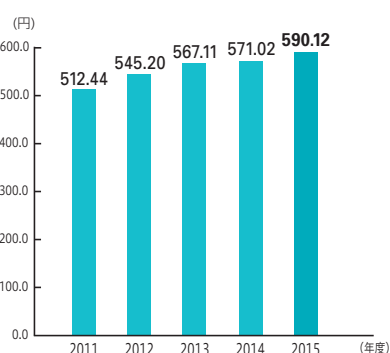
$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本}}{\text{総資産}} \times 100$$

● 1株当たり当期純利益 (EPS)



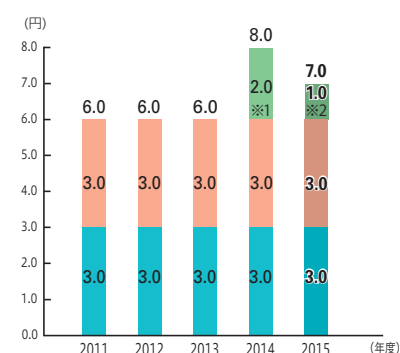
$$1\text{株当たり当期純利益 (EPS)} = \frac{\text{当期純利益}}{\text{発行済株式総数}}$$

● 1株当たり純資産 (BPS)



$$1\text{株当たり純資産 (BPS)} = \frac{\text{純資産}}{\text{発行済株式総数}}$$

● 配当金



※1 東京証券取引所一部指定記念配当。
 ※2 天然ガス供給開始20周年記念配当。

単体の概要

お客さま戸数

(単位: 戸)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	平均伸び率
お客さま戸数	416,205	412,793	410,353	409,185	408,490	△0.5%

ガス販売量

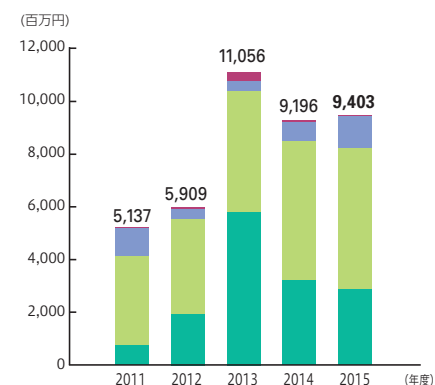
(単位: 千m³、45MJ/m³換算)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	平均伸び率
家庭用	107,654	105,486	103,130	103,866	100,244	△1.8%
商業用	49,303	48,244	47,728	45,389	43,871	△2.9%
工業用	273,683	262,078	258,695	242,213	242,183	△3.0%
その他用	37,883	37,857	38,890	37,264	36,264	△1.1%
計	468,525	453,666	448,445	428,733	422,565	△2.5%
卸供給など	55,628	60,142	61,292	62,918	60,456	2.1%
総計	524,153	513,808	509,737	491,651	483,021	△2.0%

注) 各販売量の数値は千m³未満を切り捨てのため、総計が各項目の合計値と一致しない場合があります。

設備投資額

■ 製造設備 ■ 供給設備 ■ 業務設備 ■ 附帯事業設備



環境分野

低炭素社会の構築をめざし
クリーンエネルギー天然ガスの高度利用を基軸として
環境保全を推進していきます。

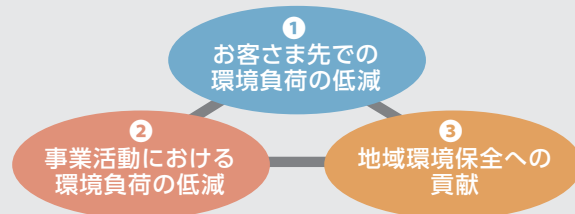
環境保全活動の基本的な考え方

当社は、1993年度に環境基本理念および環境行動指針を策定し、全社で環境保全活動を推進しています。環境保全活動は、関係会社を含めた企業グループ全体で取り組むことにより、一層大きな改善効果が期待できることから、2005年度に「広島ガスグループ環境基本理念」および「広島ガスグループ環境行動指針」を制定し、広島ガスグループとして環境保全への取り組みを推進しています。

■ 広島ガスグループ環境基本理念

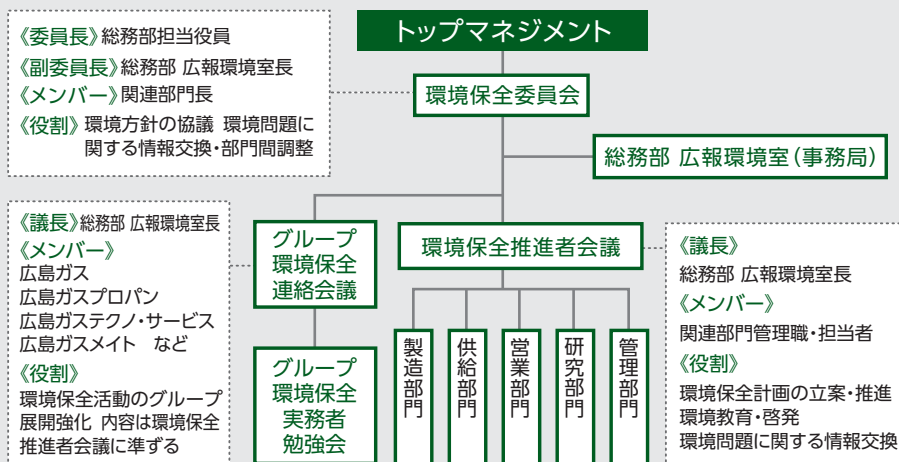
広島ガスグループは、
事業活動を通じてエネルギーと資源の効率的利用を
追求するとともに、地域・地球環境保全を推進し、
社会の持続可能な発展に貢献する。

■ 広島ガスグループ環境行動指針



環境行動指針を支える環境マネジメント

■ 環境活動推進体制 (2016年4月1日現在)



環境活動を推進するために

総務部担当役員を委員長とする「環境保全委員会」の下に、「環境保全推進者会議」と、「グループ環境保全連絡会議」、「グループ環境保全実務者勉強会」を設置し、連携を取りながら、各部門の環境保全活動の立案・推進、環境啓発、環境目標の実績集計などについて積極的に実施・点検しています。

参考

LCA※1による化石燃料の温室効果ガス排出量の比較

この表は、化石燃料が採掘から燃焼までの各区分で排出する温室効果ガス排出量(CO₂換算値)を比較しており、LNG(液化天然ガス)やLPG(液化石油ガス)が、他の化石燃料と比べ、LCA評価においても優位性があることを示しています。

区分	石炭	石油	LPG	LNG
生産	4.58	4.06	4.94	9.17
輸送	1.71	0.79	1.80	1.97
設備	0.11	0.08	0.11	0.04
燃焼	88.53	68.33	59.85	49.40
合計	94.93	73.26	66.70	60.58
指数※2	100	77	70	64

※1 LCA:ライフサイクルアセスメント
原材料の採取から製造、使用および廃棄に至るすべての過程を通じて、製品が環境に与える影響の大きさを定量的に整理、評価する手法。表の数値は、温室効果ガス排出量をCO₂換算し、総発熱量ベースで算出。

※2 指数は、石炭を100とした場合の温室効果ガス排出量比。

〈資料〉LNGおよび都市ガス 13Aのライフサイクル温室効果ガス排出量の未来予測、「エネルギー・資源」Vol.28 No.2(2007)

都市ガスの組成

当社は、LNGを主原料に都市ガスを製造し、ガス導管を通じてお客さまにお届けしています。

【都市ガスの性状】

成分およびその含有量(天然ガス供給区域)

成分組成				
名称	化学式	体積%	ガス種	13A
メタン	CH ₄	91	標準熱量	45MJ/m ³
エタン	C ₂ H ₆	5	比重(空気=1)	0.638
プロパン	C ₃ H ₈	2	CO ₂ 排出係数	2.29kg-CO ₂ /m ³
ブタン	C ₄ H ₁₀	2		

(注) ガス組成は代表値を示す。

環境保全活動の運用

▶ PDCAサイクルに沿って環境保全活動をきめ細かく推進しています。

当社の環境保全活動は、従来から運用しているTQM(総合的品質経営)をベースに、環境保全活動をPDCAサイクルに沿って推進しています。環境保全活動を含めた中期経営計画の策定(P)、各部門改善活動の実施(D)、環境保全推進者会議などでチェック(C)、環境保全委員会での見直し(A)などにより、継続的なレベルアップをめざしています。



環境保全・生物多様性の保全への考え方

広島ガスグループは、環境特性に優れた天然ガスを中心とするエネルギー供給事業者として、環境保全・生物多様性に配慮した事業展開を幅広く認識し、環境保全活動に真摯に取り組むことで、社会の持続可能な発展に貢献していきます。

【具体的な取り組み内容】

- 環境にやさしい天然ガスおよび高効率機器の普及拡大、エネルギーミックスの推進、環境負荷の低減
- ガス導管工事における掘削土の発生抑制、再利用、再資源化の推進
- 外来生物リスク対策
- 地域清掃活動、イベント出展、環境啓発活動、地域環境保全推進団体との連携、エネルギー・環境教育(出張授業・研修、教材配布)



100周年植樹ソメイヨシノ(本社近く)



屋上緑化(本社屋上)
本社屋上(300m²)に樹木を植えた屋上庭園を設置し、環境保全活動を推進しています。



バラスト水確認作業
LNG(液化天然ガス)輸送時に外来生物リスクを低減するため、バラスト水を管理しています。



エヒメアヤメ生息地下草刈り(三原市)

① お客さま先での環境負荷の低減

天然ガスの環境性・安定性

▶ 環境性

天然ガスはクリーンなエネルギーです。化石燃料の燃焼生成物など発生量比較(石炭を100とした場合)



天然ガスは、石油や石炭に比べ、燃焼時に排出されるCO₂や有害物質の量が少ないため、化石燃料の中でもクリーンなエネルギーといわれています。
出典:「エネルギー白書2013」資源エネルギー庁

▶ 供給安定性

天然ガスは、世界に広く豊富に存在しています。当社は、ロシア(サハリン)などで採掘され、精製・液化されたLNG(液化天然ガス)を輸入し、廿日市工場で受け入れています。また、近年、採掘技術の向上により、シェールガス、コールベットメタン、タイトサンドガスといった従来では採掘が困難であった非在来型天然ガス資源が産出可能となり、安定した供給が見込まれています。

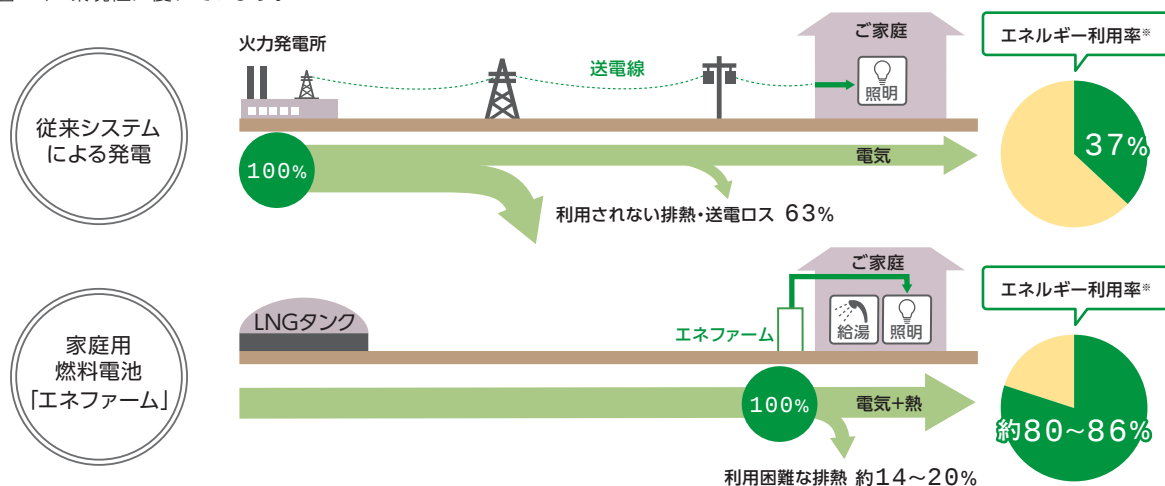
さらに、日本の近海には、日本の年間消費量の約100年分に相当するメタンハイドレートが存在しており、政府主導による開発が進められています。

エネルギー利用効率の高いガスコージェネレーション

ガスコージェネレーションシステムは、天然ガスを使用して発電するとともに、同時に発生する熱を給湯や冷暖房で利用することで、エネルギーを効率的に利用できるシステムです。

発電所で発生する熱は、捨てられてしまいます。また、遠く離れた家庭に電気が運ばれてくるまでに、送電ロスなどが発生します。エネファームなら、使う場所がエネルギーをつくる場所。だからロスが少なく、熱も活用。エネルギー利用率は約8割が期待でき、省エネ・環境性に優れています。

エネルギー利用効率の比較



※HHV(高位発熱量:燃料を燃焼させた時に生成する水蒸気の凝縮潜熱を発熱量に含めた発熱量)基準。

火力発電のエネルギー利用率および送電ロスなどは、2005年9月の省エネ基準部会における参考資料(9電力及び卸電気事業者の2003年度運転実績)から算定。
エネファームの数値は、機種によって異なります。

出典:(-)出日本ガス協会

燃料転換の取り組み(工業用)

当社では、天然ガス販売量の約5割は工業用のお客さまが占めています。当社が供給する天然ガスは半導体工場・自動車工場・製鉄所などさまざまな業種の生産工程において利用されています。

溶解炉、熱処理炉などの工業炉やボイラの燃料を重油などの油燃料から天然ガスへと燃料転換することで、お客さま先におけるCO₂排出量の抑制に貢献しています。油燃料から天然ガスへの燃料転換によりCO₂排出量は約25%削減が可能となります。



ガス工業炉

天然ガス高効率利用の促進(家庭用)

天然ガスの普及拡大を図りつつ、エネルギーの高度利用を推進すること、お客さまニーズに合わせた電力などのマルチエネルギー供給を推進すること、そして太陽光などの再生可能エネルギーの出力変動を天然ガスで補完することなど、さらなる省エネ・省CO₂へ向けて貢献するとともに、便利で快適な暮らしをご提案します。

▶ 家庭用高効率機器の普及

【環境にやさしい未来型住宅(スマートエネルギーハウス)の提案】

— ガス — 電力 — 温水

W(ダブル)発電 “省エネ住宅から創エネ住宅へ”

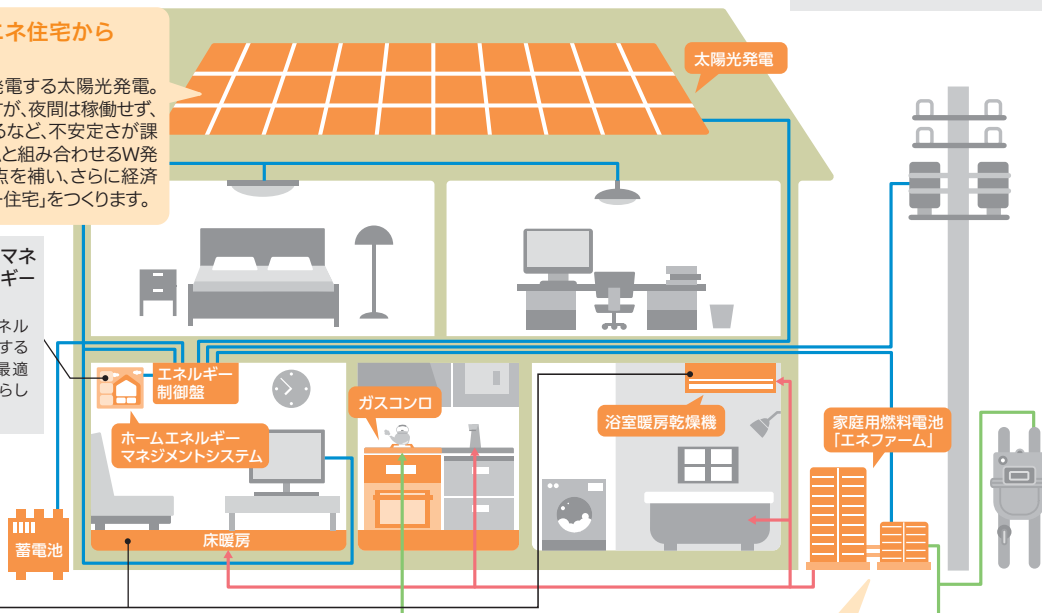
太陽の光エネルギーで発電する太陽光発電。クリーンさは最大の魅力ですが、夜間は稼働せず、雨天時は発電量が低下するなど、不安定さが課題です。そこで、エネファームと組み合わせるW発電により、太陽光発電の弱点を補い、さらに経済的で効果的な「創エネルギー住宅」をつくります。

HEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)でエネルギーを最適利用

HEMSによって家庭内のエネルギーを見える化、コントロールすることで「創る、貯める、使う」を最適化し快適で環境にやさしい暮らしを実現する「スマートハウス」。

ガス温水式 床暖房・浴室暖房乾燥機

温水を循環させて暖房や衣類乾燥に使用します。電気の使用量は非常に少ないので、ピーク時の電力使用量を大幅に削減できます。



高効率給湯器「エコジョーズ」 (累計販売台数32,137台)

(2016年3月31日現在)



従来利用されていなかった排熱をコンデンシング技術を使って再利用し、熱効率を80%から95%まで引き上げた高効率給湯器です。

高効率給湯器「エコジョーズ」

家庭用燃料電池「エネファーム」



P社製(固体高分子形)



T社製(固体高分子形)



A社製(固体酸化物形)

家庭用燃料電池「エネファーム」 (累計販売台数1,110台)

(2016年3月31日現在)

「エネファーム」は、天然ガスなどから取り出した水素と空気中の酸素の化学反応で発電し、その際発生する熱を利用してお湯をつくります。従来型給湯器によるシステムと比べて、CO₂排出量を標準家庭で年間約1.2t抑える発電効率が高い最先端の発電・給湯暖房システムです。

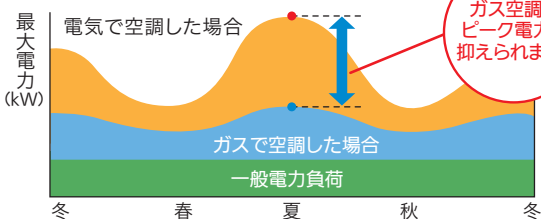
天然ガス高効率利用の促進(商業用)

▶ 業務用高効率設備・機器の普及

ガスヒートポンプ(GHP)・ガス吸収冷温水機(ナチュラルチラー)の普及促進

ガスヒートポンプ・ガス吸収冷温水機は、ガスで空調するシステムで、夏期・冬期における電力のピークカットに大きな効果を発揮します。

【GHPによる消費電力の平準化(イメージ)】



ガスヒートポンプ
(GHP)



ガス吸収冷温水機(ナチュラルチラー)

天然ガス自動車の普及促進

天然ガス自動車(NGV)は、ガソリンや軽油の代わりにクリーンな天然ガスを燃料に走行する自動車です。その排出ガスには、発ガン性が指摘されている黒煙(粒子状物質)や酸性雨の原因となる硫酸化合物が含まれず、地球温暖化の原因となるCO₂もガソリン車に比べて低く抑えることができます。



天然ガストラック



天然ガス路線バス

◆全国の天然ガス自動車および天然ガスタン드의普及状況

天然ガス自動車 全国...45,514台 天然ガスタンド(急速充填所) 全国...282カ所
広島地区...993台(内数) 広島地区...9カ所(内数)

(2016年3月31日現在)

② 事業活動における環境負荷の低減

ガス導管工事における排出物削減と再資源化

新工法の採用、再資源化の推進などによりアスファルト・コンクリート・土砂などの排出量の削減に努めています。

▶ ガス導管工事における掘削土の削減と再資源化



◎非開削工法による掘削土の削減

道路を掘らないでガス導管を埋設する工法

◎浅層埋設による掘削土の削減

道路に埋設するガス導管の深さを従来より浅く埋設する工法

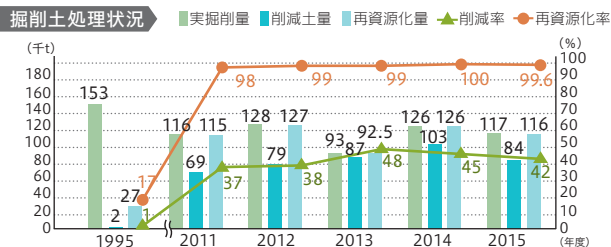
◎掘削幅縮小による掘削土の削減

ガス導管工事において道路掘削幅を従来より縮小

◎掘削土の直接埋め戻しまたは再資源化処理し再利用

ガス導管工事で排出された土砂のうち、良質のものまたは再資源化したものを埋め戻しに使用

これらの取り組みにより、山砂などの採掘量を減らし、生態系への影響を低減しています。



▶ ポリエチレン管の普及促進と廃材の再資源化



ポリエチレン管

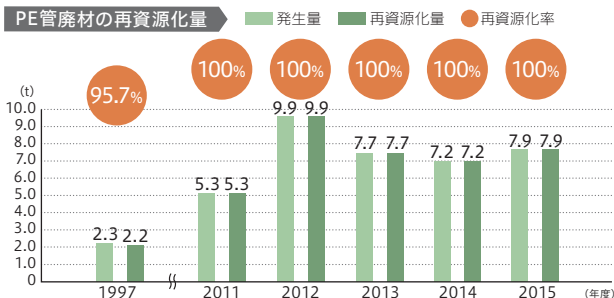
ガス導管には耐食性・可とう性に優れ地震にも強いポリエチレン管 (PE管) を1989年から採用しています。また、不要になったPE管は100%再資源化しています。



ポリエチレン管リサイクル品 (病院向けボックス)



ポリエチレン管の可とう性



工場におけるエネルギー有効利用

2004年9月、廿日市工場にガスコージェネレーションシステムを導入し、排熱の活用により、CO₂排出量の抑制に寄与しています。また、余剰電力は小売電気事業者などへ卸売供給しています。

2015年度のCO₂発生量は、天然ガス転換による効果と合わせて、1990年度に比べ約10万t、約83%削減できました。

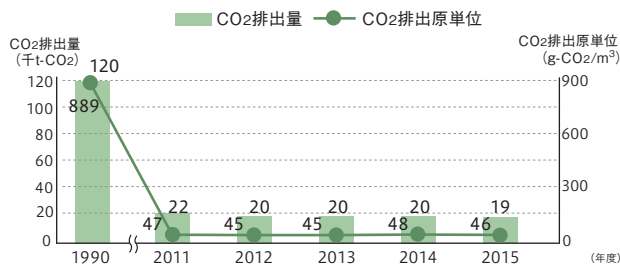


ガスコージェネレーションシステム (廿日市工場)

廿日市工場ガスコージェネレーションシステム概要

- ・発電容量 / 11,000kW (高効率天然ガスエンジン5,500kW×2基)
- ・送電容量 / 最大10,000kW (特別高圧22kV)
- ・総合効率 / 約78% (発電効率42%、熱回収効率36%)

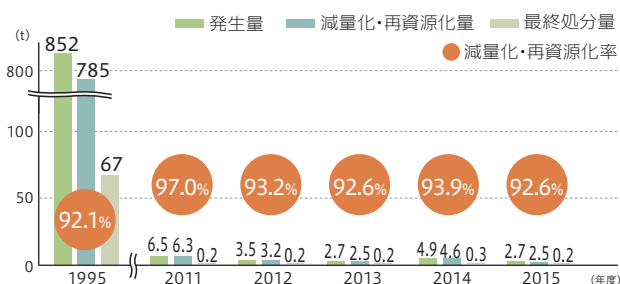
都市ガス製造におけるCO₂排出量と原単位



産業廃棄物の削減と再資源化

原料を天然ガスに転換したことにより、製造所からの産業廃棄物排出量は激減しました。

産業廃棄物 (製造所) の減量化・再資源化



ISO14001認証取得

当社の都市ガス製造所 [廿日市工場、備後工場、東広島製造所] はすべて取得済みです (審査登録機関: (-財) 日本ガス機器検査協会 JIA-QAセンター)。



ISO14001登録証・付属書

大規模太陽光発電設備の設置

2013年10月から、呉市の旧阿賀工場跡地にて、大規模太陽光発電所(733kW)の運転を開始しています。

また、2014年1月から広島ガスプロパン(株)が広島マリーナホップにて、大規模太陽光発電所(600kW)の運転を開始しています。

本社ビル、支店、ショールームでも太陽光発電所を設置して、環境保全活動に努めています。



阿賀太陽光発電所(呉市)



太陽光発電(尾道支店屋上)

事業所における省エネと資源の有効活用

▶ エコオフィス活動の推進

事務所におけるCO₂排出削減、廃棄物排出の削減などを推進しています。全国的な節電の必要性などを踏まえ、オフィスに加え家庭での省エネ行動例を社内周知しています。



ペーパーレス会議

エコオフィス活動項目

- ① エネルギー消費の低減
節電、空調管理、節水、公共交通機関の利用促進、クールビズ(5月～10月)の実践、省エネ機器への更新(LED照明など)など
- ② 資源消費の低減
紙の使用削減と再資源化、タブレット端末の導入など
- ③ 廃棄物の発生抑制と適正処理
ごみの分別強化、リサイクル推進など
- ④ 自動車管理、低公害車の導入
使用頻度の少ない車の契約解除対応
- ⑤ 自転車の活用による環境保全
環境にやさしい自転車の導入
- ⑥ 全社掲示板による環境保全啓蒙活動

環境に関する規制遵守

2015年度は、環境に関する法令違反や罰則はありませんでした。

▶ 省エネ法※への対応

「省エネ法」ならびに「温対法」に基づき、エネルギー管理統括者などの選任、ならびに当社全事業所を対象とした定期報告書および中長期計画書などを監督官庁である中国経済産業局に提出しました。今後も、法令に基づきエネルギーの有効活用に取り組んでいきます。

2016年に創設された「事業者クラス分け評価制度」において、当社はSクラス(優良)と評価されました。

※省エネ法(エネルギーの使用の合理化等に関する法律):事業者全体の1年間のエネルギーを一定規模以上使用している事業者は、そのエネルギー使用量を国へ届け出て、特定事業者の指定を受け、定期的に報告などを行うことを定めた法律

▶ 自動車環境管理

広島県条例「広島県生活環境の保全等に関する条例」に基づき、自動車使用合理化実施状況報告書、広島市条例「広島市地球温暖化対策等の推進に関する条例」に基づき、自動車環境報告書などを行政に提出しました。

▶ 化学物質の管理

[PCB(ポリ塩化ビフェニール)の管理]

トランス、コンデンサーなどに使用されていたPCBは保管場所に集積・管理し、2014年5月に、高濃度PCBの無害化処理を実施しました。2015年9月に低濃度PCBの無害化処理を実施しました。

[PRTR法※への対応]

化学物質の取り扱い量は、天然ガス転換により激減し、2015年度は、規定量の届出物質はありませんでした。

[アスベスト使用状況調査とその対応]

当社およびグループ会社3社は、アスベストに関する健康被害状況と自社所有建物および設備などにおける使用状況を調査しました。その結果、健康被害はありませんでしたが、一部使用が確認され、除去作業を2005年に完了し、調査結果を同年公表しました。

※PRTR法:特定の化学物質を規定量以上取り扱った際に排出・移動量を届け出ることを定めた法律

▶ 産業廃棄物処理場の実地確認

廃棄物処理法(「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」)、広島県条例に基づき、当社グループから産業廃棄物として排出される処理場の実地確認を行っています。



産業廃棄物処理場

▶ 土壌調査とその対応

天然ガス転換完了を機に石炭を主原料としていた旧海田工場ならびに旧阿賀工場の製造設備跡地の土壌調査を自主的に行った結果、ヒ素、シアンなどによる汚染が判明しましたので、2003年12月に公表するとともに近隣の皆さまへの説明を行いました。調査の結果からも周辺の生活環境への影響はないものと考えておりますが、将来にわたる周辺への影響を防止するため対策工事を実施し、2004年度に完了しました。

その後も両用地とも地下水モニタリングを実施しており、海田工場跡地(現:海田基地)については、揚水井戸、水処理装置を使用して、揚水による浄化を継続しています。



水処理装置(海田基地)

③ 地域環境保全への貢献

地域清掃活動

毎月一回、各事業所周辺の美化活動を実施するとともに、ひろしまフラワーフェスティバル、ひろしま男子駅伝、ごみゼロ・クリーンウォーク、クリーン太田川、平和記念公園一斉清掃などの行政の外部団体主催の清掃イベントにも参加しています。



事業所周辺清掃



ごみゼロ・クリーンウォーク

環境教育・環境啓発活動

行政・学校・地元企業・地域と連携し、環境保全・教育活動を推進するとともに、ショールームでの調理実習などの体験型学習を行っています。

年月	名称	内容
2015. 8	先生方のためのエネルギー環境問題セミナー・見学会	出張授業紹介、エネルギー環境教育セミナーほか当社「ガストピアセンター」視察
2015.10	(公)広島消費者協会 環境カンファレンス	企業の環境取り組み紹介、カンファレンス討議
年間を通じて	教育支援(エコ・クッキングなど)	社会分野(P.31)を参照ください
	出張環境講演会	地元企業などでの環境講演会など



(公)広島消費者協会 環境カンファレンス

各種環境フェアなどへの出展

CSR活動や、天然ガスの環境性や省エネ型ガス機器の紹介、理科実験授業などを実演しています。

年月	名称	内容
2015. 6	環境の日ひろしま大会(広島県環境イベント)	燃料電池実演、省エネガス機器紹介、太陽光発電キットの実演
2015. 7	2015ひろしま温暖化ストップフェア(広島市環境イベント)	燃料電池実演、省エネガス機器紹介、都市ガスポリエチレン管紹介
2015. 9	くれエコフェスタ2015	ガスのある暮らし体験会
2015.10	はつかいち環境フェスタ2015	燃料電池実演、都市ガスポリエチレン管紹介
2015.11	ひがしひろしま環境フェア2015	燃料電池実演、都市ガスポリエチレン管紹介
	エコ・イノベーションメッセ2015 inひろしま	燃料電池実演、都市ガスポリエチレン管紹介、省エネガス機器紹介、サイエンスショー
2016. 2	府中町緑の仲間フェスタ	燃料電池実演、都市ガスポリエチレン管紹介

ひがしひろしま環境フェア2015
(広島ガス中央㈱と共同出展)

2015ひろしま温暖化ストップフェア

地域環境保全推進団体・環境啓発事業への参画

広島県の行政・団体・企業により構成されている各種の環境保全推進組織に委員などとして参画し、環境啓発・教育・イベントなどを支援しています。

団体・事業	事務局	支援活動
ひろしま地球環境フォーラム	広島県	イベント運営など
広島県地球温暖化防止活動推進センター	広島県環境保健協会	イベント支援・関係会議への出席など
ひろしまエコパートナー	広島市	イベント支援・環境講座実施など
広島市地球温暖化対策地域協議会	広島市	イベント支援・関係会議への出席など
エコネットひがしひろしま	東広島市	イベント支援・関係会議への出席など
中国地域エネルギー・温暖化対策推進会議	中国経済産業局	関係会議への出席など
広島商工会議所環境行動計画に係るWG	広島商工会議所	工場見学など

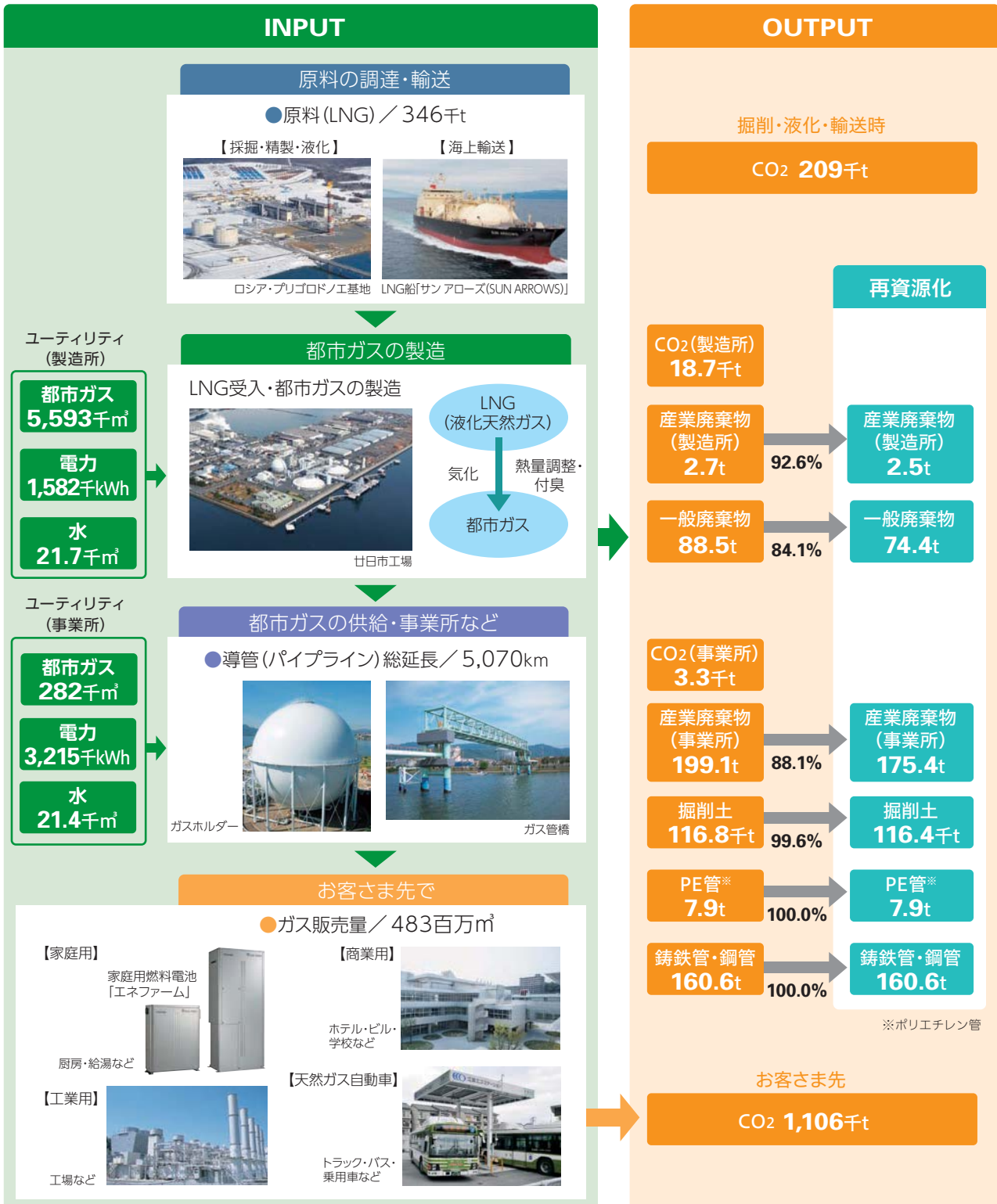
広島市地球温暖化対策地域協議会
広島ガス施設見学会

環境負荷低減フロー（2015年度実績）

2015年度の事業活動における主な環境負荷についてまとめました。

環境保全活動における
お取引先との関係

廿日市工場・備後工場・東広島製造所においては、LNG船、LNGローリーなどの役務提供者および購買先に対して、環境保全活動（サプライチェーン・マネジメントなど）への協力を依頼しています。
●環境保全に関する覚書 ●安全環境教育



経営分野

環境分野

社会分野

環境目標および実績

環境保全活動を効果的に推進するため、2002年度に環境行動指針に対応した5年間の中期環境目標を設定し、見直しを行いながら活動を進めています。2016年度から2020年度までの新たな環境目標を策定しました。

2011年度～2015年度 環境目標

環境行動指針	長期環境目標	長期環境目標
		2015年度 目標・実績
①お客さま先での環境負荷の低減 広島ガスグループは環境負荷軽減に寄与する製品・サービスの提供を推進し、お客さま先での環境負荷の低減に努める。	お客さま先でのCO ₂ 排出量を、2015年度に20万t-CO ₂ 以上抑制する。	
②事業活動における環境負荷の低減 広島ガスグループの事業活動が環境に与えている負荷を軽減するとともに、環境マネジメントの強化を図り、ゼロエミッションをめざした3R(廃棄物などの発生抑制、再使用、再資源化)を積極的に推進する。	事業活動(都市ガス製造時)におけるCO ₂ 排出原単位を、2015年度に50g-CO ₂ /m ³ (販売ガス量)を維持する。	
	事務所(オフィス)におけるCO ₂ 排出量を2009年度に比べて2015年度に240t-CO ₂ 以上削減する。 ※原子力発電停止による中国管内CO ₂ 排出係数増加により達成率低下	
	低公害車(天然ガス自動車、低排出認定ガソリン車など)を、2015年度までに全車両に導入する。 ※行政の基準強化により達成率低下	
	産業廃棄物最終処分量(製造部門)を2015年度まで1t以下を維持する。	
	ガス導管工事から発生する掘削土量を、2015年度まで従来工法に比べ35%以上削減を維持し、再資源化率を85%以上にする。	
③地域環境保全への貢献 広島ガスグループが事業活動を営む地域の環境保全活動に、積極的に取り組む。	2015年度に一般廃棄物の発生を、2001年度に対し50%以上削減し、再資源化率を80%以上にする。	
	各事業所において、地域と一体となった環境保全活動を実践する。	

2016年度～2020年度 環境目標

★ベンチマーク基準

環境行動指針	広島ガス目標(2016-2020)	年度目標値				
		2016	2017	2018	2019	2020
①お客さま先での環境負荷の低減 広島ガスグループは環境負荷軽減に寄与する製品・サービスの提供を推進し、お客さま先での環境負荷の低減に努める。	①お客さま先でのCO ₂ 排出量を年間1万t以上削減する。	2.7万t以上	2.9万t以上	1.1万t以上	1.1万t以上	1.1万t以上
②事業活動における環境負荷の低減 広島ガスグループの事業活動が環境に与えている負荷を軽減するとともに、環境マネジメントの強化を図り、ゼロエミッションをめざした3R(廃棄物などの発生抑制、再使用、再資源化)を積極的に推進する。	②ガス製造工場の過去5年の前年比エネルギー使用原単位平均を1%以上削減する。★	1%以上減	1%以上減	1%以上減	1%以上減	1%以上減
	③オフィスの過去5年の前年比エネルギー使用原単位平均を1%以上削減する。★	54%	58%	62%	66%	70%
	④低公害車の割合を2020年度までに70%とする。★	55g-CO ₂ /m ³ 以下	55g-CO ₂ /m ³ 以下	55g-CO ₂ /m ³ 以下	55g-CO ₂ /m ³ 以下	55g-CO ₂ /m ³ 以下
	⑤当社事業活動(都市ガス製造時)におけるCO ₂ 排出原単位を、55g-CO ₂ /m ³ (販売ガス量)以下を維持する。★	1t以下	1t以下	1t以下	1t以下	1t以下
	⑥産業廃棄物最終処分量(製造部門)を、2020年度まで1t以下を維持する。★	35%以上	35%以上	35%以上	35%以上	35%以上
③地域環境保全への貢献 広島ガスグループが事業活動を営む地域の環境保全活動に積極的に取り組む。	⑦ガス導管工事から発生する掘削土量を、従来工法に比べ35%以上削減を維持する。	85%以上	85%以上	85%以上	85%以上	85%以上
	⑧ガス導管工事から発生する掘削土量の再資源化率85%以上を維持する。	[CSR] 13,000人以上 [環境] 2,000人以上 計15,000人以上	[CSR] 13,000人以上 [環境] 2,000人以上 計15,000人以上	[CSR] 13,000人以上 [環境] 2,000人以上 計15,000人以上	[CSR] 13,000人以上 [環境] 2,000人以上 計15,000人以上	[CSR] 13,000人以上 [環境] 2,000人以上 計15,000人以上

環境会計

事業活動における環境保全のためのコストとその活動による効果を定量的に把握するのが環境会計です。環境に関わるコストと効果を、環境省の「環境会計システムの確立に向けて〈2000年報告〉」をベースにした（一社）日本ガス協会の「都市ガス事業における環境会計導入の手引き」（2002年10月改定）に基づき集計しました。

2015年度の集計実績

▶ 環境保全コスト

（単位：百万円）

環 境 保 全 コ ス ト 項 目			投資額		費用額	
主な内容(例)			2014年度	2015年度	2014年度	2015年度
自 社 業 務	公害防止	大気汚染、水質汚濁、騒音などの防止のための設備投資額、維持管理費、減価償却費、人件費など	34	4	18	18
	地球環境保全	省エネルギー、エネルギー有効利用、オゾン層保護などのための設備投資額、維持管理費、減価償却費、人件費など	65	142	12	15
	資源循環	掘削残土削減、再資源化、廃棄物管理などのための設備投資額、維持管理費、減価償却費、人件費など	0	0	8	7
	環境マネジメント	グリーン購入、環境教育、EMS構築、環境対策組織などのコスト	0	0	17	17
	その他	工場立地法や条例に基づく工場の緑化など(主要内容：旧海田工場・旧阿賀工場土壌浄化工事)	0	0	18	23
お客さま先	環境 R&D※	環境負荷低減技術、高効率機器・システム開発のための研究開発コスト	18	20	26	26
社会貢献活動	自主緑化、景観保持、自然保護、美化地域の環境活動支援、環境広告、環境情報公表など		0	0	21	20
合 計			117	166	120	126

※環境R&Dとは、研究開発コストのうち環境保全のためのものをいいます。

2015年度は、ショールームの新設、リニューアルがあったため、投資額が増加しました。

2015年度の効果

【環境負荷水準】

環境負荷水準	2014年度	2015年度
NOx原単位（製造）（mg/m ³ ）	27	42
CO ₂ 原単位（製造）（g-CO ₂ /m ³ ）	48	46
CO ₂ 原単位（オフィス）（g-CO ₂ /m ³ ）	6	6
掘削発生土外部排出量（千t）	0	0
産業廃棄物発生量（最終処分量）（t）	21	24
一般廃棄物発生量（最終処分量）（t）	15	14
（参考値） お客さま先でのCO ₂ 抑制量（千t-CO ₂ ）	187	185

【企業内経済効果】

（単位：百万円）

経済効果	2014年度	2015年度
掘削発生土外部排出量削減に伴う経費削減額	331	268
燃料ガス使用量削減による経費削減額	346	269
太陽光発電に伴う売電収入	39	38
その他	1	1
合 計	717	576

【全社設備投資額における環境設備投資額比率】

	2014年度	2015年度
全社設備投資額（百万円）	9,196	9,403
環境設備投資額比率（%）	1.3	1.8

【全社総売上高における環境費用額比率】

	2014年度	2015年度
全社総売上高（百万円）	70,380	59,763
環境費用額比率（%）	0.2	0.2

①経済効果については、自家発電や、ガス導管工事における掘削発生土の削減、太陽光発電に伴う売電収入などにより、576百万円の効果となりました。

②太陽光発電に伴う売電収入は、年間38百万円を計上しました（発電量889千kWh）。

社会分野

地域の皆さまとともに、
持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進していきます。

地域社会との関わり(芸術・文化振興、地域振興、スポーツ振興、教育支援)

当社は、とりわけ広島に関わりの強い企業であり、さまざまな社会貢献活動を実施しています。活動にあたっては、「芸術・文化振興」、「地域振興」、「スポーツ振興」、「教育支援(次世代教育への取り組み)」の4分野を軸に展開しています。

・ 芸術・文化振興、地域振興 ・

「第29回広響ホットコンサート」の開催

▶ お客さま、地域の皆さまに日ごろの感謝の気持ちを込めて

中国・四国地方唯一のプロオーケストラである「広島交響楽団(広響)」のサポートと地域貢献を目的に、広響ホットコンサートを毎年9月に開催しています。

29回目となる2015年度は、広島文化学園HBGホールにて「モーツァルト×メンデルスゾーン 音彩のチカラ」と題して、ソリストにピアノの菊池洋子氏、指揮者には垣内悠希氏を迎え、公募ご招待の1,200人を含む1,668人のお客さまに、身近な名曲をご堪能いただきました。また、コンサート会場にて広島交響楽団の社会貢献活動「音楽の芽プロジェクト」を応援する募金活動も行いました。



コンサートステージ

第40回ひろしまフラワーフェスティバルへの参加・神楽フェスティバルへの協賛

▶ 地域の皆さまとともに、地元の活性化に向けて

毎年5月3日～5日に開催され、全国的にも多くの来場者数(2016年:約141万人)を誇るひろしまフラワーフェスティバルは、広島東洋カープ初優勝のパレードがきっかけとなり、1977年の第1回開催以来、2016年で第40回目の開催となりました。

当社は、地域に密着した企業として、ブース出展「ブース名: GAS LAND」・ステージ出展「ステージ名: カラーステージ」、広島電鉄㈱と共同で神楽フェスティバル協賛などの参画をして祭りを盛り上げました。

また環境保全の観点からも、JT(日本たばこ産業㈱)が主催する清掃活動にも参加し、他の企業と協力しながら、きれいな街づくりに貢献しました。



ひろしまフラワーフェスティバル GASLANDブース



神楽フェスティバル

JT清掃活動への参加

「広島インドネシア協会」における国際交流活動

インドネシア共和国は、約2億5千万人(世界第4位)の人口をもつ国家であり、日本にとってますます重要な国になっています。

当社では、インドネシア共和国との友好・信頼関係を高めるとともに、両国間の交流推進を目的として、約220の法人・個人会員のご支援のもと、1996年から広島インドネシア協会の事務局を行っています。特に、多くのインドネシア留学生在が在籍している広島大学、広島で働いているインドネシア人看護師・介護福祉士の方々、インドネシアと関わりのある地元企業などと連携し、年間行事として総会・インドネシア共和国独立記念祭・講演会・インドネシア語講座・インドネシア料理を楽しむ会などの活動を行っています。2015年度は、12月にインドネシアに

親善訪問団を派遣して友好親善を深めました。



インドネシア親善訪問の様子(広島インドネシア協会 会報より)

「呉みなと祭り」における地域交流活動(呉支店)

呉支店では、地域交流の一環として、毎年4月下旬のゴールデンウィーク中に行われる地域の一大イベント「呉みなと祭り」において、ブースを出展しています。

Siセンサーコンロを使用した調理の体験などを通じてご来場の方に炎のよさを体験していただきました。

今後も呉市に根付く企業として、地域振興に貢献していきます。



呉みなと祭り(2016年4月)

尾道みなと祭「ええじゃんSANSAN・がり」における地域交流活動(尾道支店)

尾道支店では、地域交流の一環として、地域の一大イベント「尾道みなと祭」で開催される「ええじゃんSANSAN・がり」にて尾道支店・備後工場・協力会社と混成の「ガスがええじゃん」チームを結成し、毎年踊りに参加しています。

商港都として栄えた尾道の歴史を振り返りながら、「地域社会から信頼される会社をめざす」広島ガスの経営理念を伝える場となっています。



尾道みなと祭(2016年4月)

スポーツ振興

地域のスポーツ振興に向けた取り組み

スキー部

▶ 世界大会での活躍

スキー部所属スノーボード・アルペン競技の竹内智香選手は、2018年開催の平昌(韓国)オリンピックでのメダル獲得を目標に、ワールドカップなどの世界大会にて、トップ選手としての力を磨いています。



竹内智香選手

▶ 地域イベントでの交流

毎年5月3日～5日に開催され、地域最大のお祭りである「ひろしまフラワーフェスティバル」へ前年に引き続きステージ出演し、スノーボード、スポーツのすばらしさを多くの方に伝え、地域の皆さまとの交流を深めました。



ひろしまフラワーフェスティバル(2016年5月)

バドミントン部

▶ 日本リーグでの活躍

バドミントン部は、1995年3月に創部した女子実業団チームで、2016年現在、日本リーグ2部に所属しています。日本リーグ以外にも、全日本実業団選手権、国民体育大会をはじめ、多くの舞台で活躍しています。

▶ 地域貢献

バドミントン部は、地域貢献活動として、月1回程度中学生・高校生の広島県代表選手の指導、また地域の小学校などで講習会を行い、次世代の子どもたちにバドミントンを通してスポーツのすばらしさを伝えています。

2015年度は、18カ所で開催講習会を実施し、約1,500人に指導をしました。



バドミントン講習会

サンフレッチェ広島「広島ガススポンサードゲーム」を開催

Jリーグ「サンフレッチェ広島」をサポートし、地域の活力アップにつながるようとの願いを込め、毎年「広島ガススポンサードゲーム」を開催しています。2015年度は10月に対川崎フロンターレ戦(2-1で勝利)、2016年度は5月に対サガン鳥栖戦(3-0で勝利)を実施しました。多くの役員がエディオンスタジアム広島に集結し、サポーターとともに熱い声援を送りました。

サンフレッチェ広島は2015年シーズンも優勝し、この4年間で3回のJリーグチャンピオンとなりました。2015年12月に日本

で開催された2015年クラブ選手権では世界3位となり、多くのサッカーファンに元気を与えました。



マンオブザマッチの山岸選手と田村社長
(2015年10月)



マンオブザマッチのウタカ選手と田村社長
(2016年5月)

広島東洋カープ地元4社で合同応援を実施

広島のさらなる活性化をめざし、中国電力(株)、(株)広島銀行、(株)中電工、当社の4社で地元プロ野球球団である広島東洋カープの合同応援を実施しています。

2015年度は2試合(8月5日阪神戦、9月9日中日戦)で実施し、多くの役員とその家族が、マツダZoom-Zoomスタジアム広島に集い、熱い声援を送りました。



カープ合同応援(2015年8月5日(ピースナイター))

教育支援(次世代教育への取り組み)

当社では、地域貢献活動の一環として、行政、教育委員会、学校、業界などと連携し、火育、食育、エネルギー・環境教育などの次世代教育に積極的に取り組んでいます。2015年度からは、新たにライフライン防災教室を追加しました。

次世代教育活動をまとめた総合パンフレット・ホームページを毎年更新し、小学校・中学校を中心に、さまざまな対象学年や習熟度に応じて選択いただける出張授業などを紹介しています。

次世代教育プログラム
パンフレットホームページ「子どもエネルギー ACTION!!!」
<https://www.hiroshima-gas.co.jp/action/>

火育

火育教室

小学生対象

さまざまな炎を観察、比較し、炎を上手に扱うことでたくさんの恵みを受けられることを学び、火おこし体験などできる火育教室を実施しています。

エネルギー・環境教育

サイエンスショー

小学生・中学生対象

理科や科学の楽しさについて、実験を通じてわかりやすく紹介する「サイエンスショー」を出張授業形式で展開しています。冷熱実験・燃焼実験や燃料電池実験に加え、天然ガスの特性や環境の大切さなども伝えています。なお、サイエンスショーは、小学校・中学校に加え、県や市の公的な施設・イベントなどでも実施しています。

【主な実施場所】

学校	公的施設	イベントなど
● 県内の小学校・中学校	● 広島市子ども文化科学館 ● 広島市健康づくりセンター健康科学館 ● 呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム) など	● 環境の日ひろしま大会 ● 青少年のための科学の祭典 など

技術研究所 理科実験授業

小学生・中学生・高校生対象

技術研究所の理科実験授業では、天然ガスや燃料電池に関わる実験を通じて、「エネルギーと環境」について学校でわかりやすく伝えています。

広島県内の小学校・中学校・高校などを訪問し、実験も交えながら授業を実施しています。また2015年度は、日本・アジア青少年交流事業で来日した高校生達が、当社で燃料電池実験や冷熱実験を体験しました。



実験の様子

食育

エコ・クッキング※教室

小学生・中学生対象

※「エコ・クッキング」は、東京ガス㈱の登録商標です

食食物やエネルギーを大切にすることを学び、地球のことを考えた調理を通じて環境について学ぶプログラムです。買い物・料理・片付けに関する学習を中心に、ガストピアセンターや小学校・中学校などで実施しています。



授業の様子

味覚教室

園児・小学生対象

基本の「味」とは何かを学びます。味覚教室では、味覚、視覚、嗅覚、聴覚、触覚の五感を養うことができます。

防災教育

ライフライン防災教室

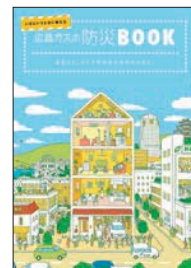
小学生・保護者対象

中国電力㈱、広島市水道局と当社が3者合同で、小学生とその保護者の方を対象とした防災教室を開催しています。

災害が起こった際に役立つ、ガス・電気・水道に関する知識の提供を通じて子どもたちの防災意識を高めることを目的に、出張授業を実施しています。



ライフライン防災教室の様子



広島ガスの防災BOOK

科学講座

スーパーサイエンスミュージアム(SSM)の実施

小学生対象

2015年度で13年目をむかえたSSMは、科学を通して子どもたちの豊かな感性・創造性を育てることを目的に、産・学・官が連携した広島県内の教育機関、学校、科学館などの関係者がプロジェクトを組み、2003年度から実施している取り組みです。

対象は小学校5～6年生の選抜メンバーで、学習指導要領にとらわれない高度な理科講座を年間17回程度展開し、地元企業や博物館などとの連携プログラムも取り入れています。



遺伝子実験の様子

情報発信

当社は、すべてのステークホルダーの皆さまに広島ガスグループの活動などをご理解いただけるよう、さまざまな情報発信などを行っています。

具体的には、ホームページや各種法定書類などを通じたIRや環境保全に関する情報開示や、プレスリリース、グループ広報誌などを通じて必要な情報をタイムリーに発信しています。

報道発表

広島ガスグループのトピックスや財務状況などの情報は、記者会見、プレスリリースなどを適宜実施してマスコミに提供し、ステークホルダーの皆さまに速やかかつ確実に伝達されるよう、積極的な情報発信を行っています。なお、プレスリリースなどの資料は、ホームページからご覧いただけます。



ホームページ「プレスリリース」



記者会見

IR関連

年4回、有価証券報告書を発行しているほか、株主の皆さま向けの報告書を発行、会社説明会を実施するなど、適宜、当社の活動内容や財務状況の全容を開示しています。なお、各種IR情報(日本語・英語)は、ホームページからご覧いただけます。

	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3
Net Sales	76,731	77,912	83,541	88,851	76,303
Operating Income	1,347	2,841	2,058	4,111	5,475
Ordinary Income	1,803	3,170	3,235	4,699	5,775
Profit Attributable to Owners of Parent	91	1,835	1,969	2,746	3,647
Total Assets	91,135	89,806	96,785	99,759	102,357
Net Assets	31,656	33,795	35,245	39,237	41,991

ホームページ「IR情報」(英語)



会社説明会(アナリスト向け)



会社説明会(個人投資家向け)

広島ガスホームページ

事業内容などを十分にご理解いただき、より多くの皆さまの快適な生活の創造にお役立ていただけるよう、ホームページにおいて多彩な生活情報・ガス器具やガスの保安に関する情報などを適宜ご提供しています。また、ガスの使用開始・中止のお申し込みや各種お問い合わせなどもホームページから可能です。

<http://www.hiroshima-gas.co.jp/>



ホームページ画面

グループ広報誌

広島ガスグループ役員が経営重要事項をしっかりと情報共有することで、グループ全体の価値向上を図ることを目的に、グループ広報誌「GASLAND」を年6回発行しています。グループ会社の役員に加え、同業他社、取引先企業、マスコミ関係者、官公庁、県内教育機関、オピニオンリーダーなどにも配布し、広島ガスグループの状況を社外の皆さまにお伝えするツールとしても活用しています。また、イントラネットを利用したNotes版「GASLAND」を開設し、タイムリーなニュース速報や広報誌プラスアルファの情報などをグループ内で共有しています。



グループ広報誌「GASLAND」



Notes版「GASLAND」

求める人材像「お客さま、地域社会、一緒に働く仲間から信頼される人材」

当社が求める人材像は、「お客さま、地域社会、一緒に働く仲間から信頼される人材」です。具体的には、公益事業者としての強い使命感を持ち、主体的に取り組み、努力を惜まず、まわりの仲間と一緒に成長し続け、そして、つねにお客さま視点で考え、行動できる人材です。従業員全員が、この「求める人材像」をめざして、さまざまな取り組みを行っています。

全員が総合職

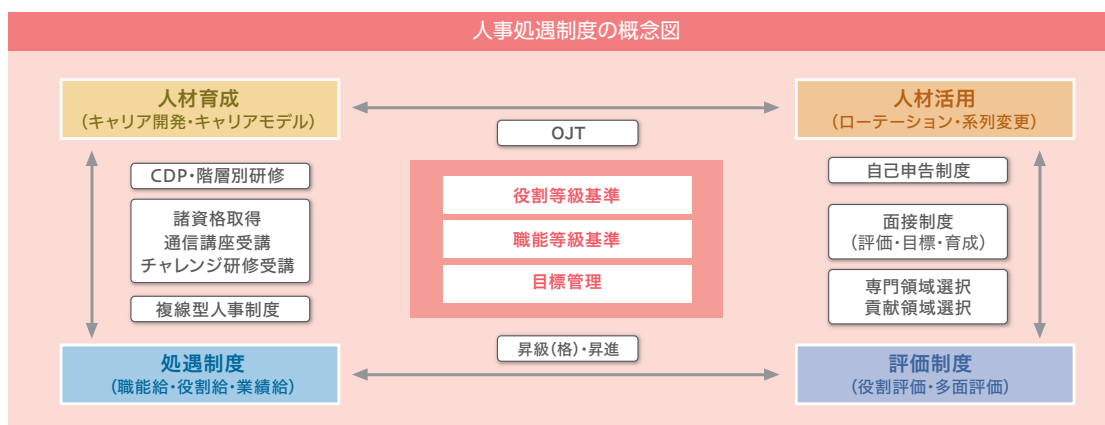
ガス事業は、保安の確保と安定供給を前提として成り立つ事業であり、事業運営をより安定的かつ効率的に進めることが求められています。そのためには、すべての部署が協力して物事を進めることが大切で、従業員全員が自分の職場や役割を超え、つねに全体のリスク低減や全体最適を考え、行動することが必要

であるため、従業員は全員総合職として活躍しています。製造・供給・営業・管理業務など、さまざまな業務を経験することが可能であり、本人の適性や希望も踏まえ、適材適所で個人の能力が最大限発揮できるような配属を行っています。

人事処遇制度

2020年ビジョンの基本方針の一つとして、「公正かつ透明で風通しのよい組織へ変革し、地域の好感度No.1の企業グループとなる」ことを掲げています。会社が発展していくためには従業員一人ひとりの成長が必要であり、「やりがい・働きがいの向上」に向けて、役職員全員が組織の目標達成をめざしてチャレンジし、努力・協力を継続できる仕組みづくりが大切です。

当社では、従業員一人ひとりの能力を伸ばし、さらに個人が発揮した能力や役割遂行、業務課題の達成度を公平・公正に評価し、適正に処遇へ反映させる人事処遇制度を構築・運用しています。そのために能力や成果を評価する評定者に対しては、集合研修や評定者訓練などを実施しています。



人材育成制度

業務に直結する専門技術や技能の習得・向上研修に加え、従業員個人の資質向上のための研修や自己啓発支援など、人材育成

のためにさまざまな取り組みを行っています。従業員のチャレンジを支援し、その成果を人事処遇制度とリンクさせています。

【2016年研修体系図】

	新入社員	主任研修	係長研修	課長代理研修	新任管理職研修	管理職研修
階層別研修 (役割認識とマネジメント力強化)	新入社員研修					
キャリア開発研修(CDP) (生涯の仕事生活を通じた成長と能力開発)	CDP1 (入社半年後研修)	CDP3 (入社3年目研修)	CDP8 (入社8年目研修)	CDP40 (40歳次研修)	CDP50 (50歳次研修)	
チャレンジ研修 (テーマ別のスキルアップ)	〈理解判断力〉〈創意工夫力〉〈コミュニケーション力〉〈問題解決力〉〈企画力〉〈折衝・調整力〉 〈指導力〉〈決断力〉など					
ガス技能研修 (社内資格研修など)	技能資格研修〈営業(機器関係など)〉・〈供給(配管関係など)〉 技能向上研修(スキルアップ)〈営業〉〈供給〉(基礎～フォローアップ)・オーダーメイド研修 など					
社外セミナー派遣 (職務別のスキルアップなど)	各種部門内研修 各種社外講演会					
人権啓発推進	コンプライアンス研修会					
国内外留学	キャリアチャレンジ支援・国内留学・海外留学					
自己啓発支援	通信講座受講支援・資格取得支援 ・寺子屋ゼミ・マネジメント力養成講座・英会話					
その他	メンター研修・チーフ研修・女性活躍推進・定年退職再雇用者など					

働きやすい職場環境づくりをめざして

従業員一人ひとりが成長し、より高い成果を出すため、働きやすい職場環境づくりに力を入れています。

安全衛生・健康管理・女性活躍推進への取り組み

会社の発展には「従業員の元気と活力が必要である」という考えのもと、従業員の安全・健康管理を推進し、快適な職場環境づくりを行っています。

安全管理面では、安全衛生管理組織のもと、労働災害の防止と従業員の安全確保に努めています。健康管理面では、法定検査項目以上の定期健康診断を実施するとともに、産業医・保健師が中心となって健康に関する個別相談・個別指導を行うなど、きめ細かい健康管理を行っています。

また、メンタルヘルス対策は、毎年全員対象の研修会の開催、

社内外の相談窓口の設置、ストレスチェック実施後の高ストレス者への保健師による個別フォローなどを行っています。

高い競争力と継続的な成長を維持するためには組織の多様性をマネジメントすることが必要であり、特に女性活躍推進は重要課題として、下記の目標を掲げて取り組んでいます。

《女性活躍推進への取り組み》（計画期間）2016年4月1日～2019年3月31日の3年間

目標①

2017年度年度以降の採用において
女性の占める割合を30%以上とする

目標②

各種セミナーを開催し、男女問わず
従業員への意識改革を行う

人材の確保

企業として健全に発展していくために、安定した新卒採用活動や、定年退職後の継続再雇用制度の運用、障がい者雇用など、多様な人材の確保に取り組んでいます。

採用にあたっては「お客さま、地域社会、一緒に働く仲間から信頼される人材」を確保すべく、男女雇用機会均等法を遵守し、公正かつ公平な選考を行っています。

採用後は、女性の職域拡大など「やりがい・働きがいのある職場づくり」に取り組んでいます。

【雇用状況の推移】

※（ ）内の数値は女性

	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度
期末要員数[人]	678(100)	681(95)	693(109)	684(111)	676(116)
平均年齢[歳]	41.7(37.5)	42.8(38.6)	43.0(39.1)	42.6(38.7)	43.5(39.9)
平均勤続[年]	18.8(14.7)	18.8(14.9)	17.7(13.2)	18.7(14.0)	18.9(15.1)
新卒採用[人]	15(3)	14(3)	16(6)	15(4)	12(3)
定年退職[人]	13	20	7	13	11
（うち再雇用[人]）	(7)	(10)	(4)	(12)	(9)
障がい者雇用数[人]	16	20	14	15	15

ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

従業員の活躍を支援する仕組みの一つとして、「育児・介護休業制度」の利用を促すとともに、2009年から「育児短時間勤務制度」の導入や、2015年からフレックスタイム制度の利用拡大など働きやすい職場環境づくりを推進しています。これは女性だけでなく、男性の働き方や育児・介護参加の視点を含めた取り組みであり、社会的責任を果たすうえでも大変重要であると考えています。

こうした取り組みが評価され、2009年には、次世代育成支援対策推進法に基づく認定マーク「くるみん」を取得しました。

【育児休業制度の利用者と復職率の推移】

区分	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度
育児休業制度 利用者(人)	4	2	5	3	1
育児休業制度 利用者の復職率(%)	100	100	100	100	100

人権啓発推進活動

従業員の人権を尊重し、人権への正しい理解と認識を社内に広めるため、「広がす人権宣言」を制定するとともに、誰もが働きやすく能力発揮できる職場をめざし、「快適な職場の条件10か条」を定めています。

社長を委員長とする「人権啓発推進委員会」や、広島ガスグループを含めた全部門からなる「人権啓発推進事務局」、「セクハラ相談窓口」を設置し、人権啓発推進活動の向上を図るとともに、全役職員が相談しやすい体制づくりにも力を入れています。

また、「人権に関するアンケート」を広島ガスグループ全体で毎

社員の声 育児休業を取得

2013年に第1子を出産、2014年に第2子を出産し、保育園の待機児童の問題もあり約2年10カ月の育児休業を取得しました。第1子、第2子と連続して育休を取得させていただいたので、職場の方々には大変ご迷惑をおかけしましたが、おかげで子ども達と貴重な時間を過ごすことができました。復職前は長期間のブランクと子育てをしながら働けるかとても不安でしたが、職場の方々にはいろいろとフォローしていただき、今では安心して働くことができます。また、短時間勤務制度を利用しているので、毎日慌ただしい日々ですが、育児と仕事を両立することができます。これからも感謝の気持ちを忘れず、自分ができることを精一杯がんばりたいと思います。



業務用エネルギー営業部
森本 瑛梨子

年実施しており、その結果を基に、全役職員を対象とした「コンプライアンス研修会」を全事業所で実施し、人権啓発意識の向上に努めています。その他にも、「人権講演会」、「ハラスメント研修会」の開催や、毎月7日を「マナーの日」と定め、あいさつ運動を各事業所で実施するなど、働きやすい職場環境づくりを進めています。

さらに、グループ会社とともに広島同企連（「同和問題の解決をめざす広島企業連絡会」の略称）に加入し、地元企業と連携した人権啓発推進活動にも取り組んでいます。

お客さま満足度向上の取り組み

▶ カスタマーディライトの実現へ向けて

広島ガスグループでは、商品やサービスを提供するあらゆる場面で、お客さまのご期待を超える品質を提供し、お客さまにお喜びいただく、「カスタマーディライト（ご期待を超える活動）」の実現に向けた取り組みをすすめています。

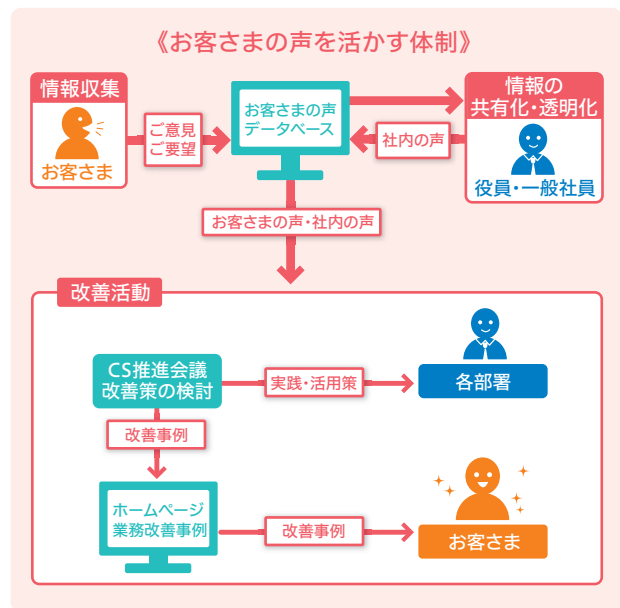
お客さま満足度向上に向けた新たな取り組み

お客さま宅訪問先における手話・外国語通訳対応の開始

「お客さまサービス」のバリアフリー化の一環として、訪問先でのモバイル端末を活用した手話および外国語通訳の対応を開始いたしました。聴覚障がい者の方や外国人の方に対して、確実なコミュニケーションを図り、これまで以上に心安いいただける対応をめざします。



テレビ電話による手話通話



イベント出展

▶ 安心で快適なガスライフを発信しています

住宅展示場や当社ショールームでのイベントを通じて、ガス機器のよさを体感していただくための活動をしています。ガス機器の上手な使い方、環境性、安全性、快適性をお客さまにお伝えしています。このようなお客さまとのふれあいを通じ、安心で快適なガスライフを発信しています。



住宅展示場での出展ブース

消費者団体との懇談会

▶ お客さまにガス事業を知っていただくために

当社事業の取り組みについて地域の皆さまに理解を深めていただくため、(公)広島消費者協会との懇談会を毎年開催しています。

懇談会では当社の取り組みを説明するとともに、施設見学や講演会などを行い、活動状況について幅広く紹介しています。



(公)広島消費者協会との定例懇談会

2015ガス展開催

2015年度のガス展は、「実感!くらしを変えるチカラ。」をテーマに広島県立総合体育館（広島グリーンアリーナ）で開催し、11月28日からの2日間で約4万7千人のお客さまにお越しいただきました。呉・尾道・広島ガスプロパングループ各地でもガス展を開催し、呉会場8,237人、尾道会場2,034人にご来場いただきました。お客さまには、日ごろの感謝の気持ちをお伝えするとともに、エネファームなどの最新ガス機器の展示・体験を通して、ガスのある快適で環境にやさしい暮らしを提案しました。



広島会場



呉会場



尾道会場



こくひ かつひこ
國部 克彦 氏

神戸大学大学院
経営学研究科 教授

エネルギー業界は、エネルギー自由化の流れの中で、これまで以上に積極的な経営が求められています。その意味で、廿日市工場の棧橋機能拡大工事を完成、広島湾岸幹線新設工事や東広島市へのパイプライン延伸工事などによるパイプラインの整備・充実、家庭用燃料電池のマンション向けの採用などは、経営戦略上非常に重要な展開です。これらの活動は同時に地域の生活の質の向上にも寄与します。CSRの観点から見れば、社会的価値を向上させるビジネスモデルとして評価できます。

なお、2016年から2020年の環境目標が行政や業界団体の目標をベースにしたベンチマーク型に移行されています。ベンチマークはベースとして重要ですが、活動によっては、独自の目標を設定したアクションプラン型の行動を併用することで、より効果的な成果が得られるものもあると思います。適切な組み合わせを検討されてはいかがでしょうか。

また、地域貢献も積極的に実施されて素晴らしいと感じます。地域の方からのフィードバックにはどのようなものがあるのでしょうか。地域貢献型の企業として、ぜひ地域住民の方々との双方向のコミュニケーションを通じて、地域貢献活動を深化させていってほしいと思います。



とくだ ようこ
徳田 洋子 氏

公益社団法人
広島消費者協会 会長

消費者としての立場から

広島ガスは、「地域社会から信頼される会社をめざす」を経営理念に据え、地域経済と市民生活の向上のために、長年にわたりエネルギーの安定供給、保安の確保、防災対策、環境問題などへの対応策を積極的に進めておられます。

2015年12月に、196カ国・地域が参加して採択されたCOP21・パリ協定で、日本は2030年度に2013年度比で△26%の温室効果ガス削減に同意し、業務部門(オフィス、店舗など)では、約40%の削減が求められ、省エネ、省CO₂の取り組みは喫緊の課題です。

広島ガスでは、化石燃料の中で最もCO₂排出量の少ない、環境にやさしい天然ガス(LNG)を安定供給することに加え、それを、より高効率利用できる家庭用燃料電池「エネファーム」をはじめ、環境先進機器の普及・拡大を図っています。

また、廿日市工場の棧橋機能拡大により標準LNG船が入港できるようになり、さらなるLNGの安定調達が期待されます。

電力小売全面自由化に続き、2017年4月からは、ガスの自由化も始まります。消費者へのわかりやすい情報提供をよろしくお願いします。



かねます とおる
兼 樹 透 氏

広島市立皆実小学校 校長

地域に密着した企業として

本校校区には広島ガスの本社があります。校舎の2階以上からは、とても大きなボールのようなガスホルダーを眺めることができます。2年生は「まちたんけん」の学習で、その大きさに目を見張り、自分たちの住んでいる地域に「こんなかいしゃがあるんだ。」と認識を新たにします。学校の歴史を物語る古い写真には円筒形のガスホルダーが写っています。地域の方が学校の歴史を語られる中で、「朝からガスを作って膨らませ、次の日にはガスを送り出してぺちゃんこになった。」とガスホルダーの歴史を話してください。本校に残っている原爆投下後の写真にもガスホルダーがあった場所がはっきりと残っています。

校区に「広島ガス」が位置付き、その存在が定着してきたことを示すエピソードの一つです。

本校では、「地域ぐるみによる教育の推進」を学校経営方針の一つとして位置付け、地元企業の方々に「出前授業」をお願いしています。広島ガスさんには、5年生、6年生を対象に「サイエンスショー」を行っていただいています。5年生では、燃焼の仕組みや液体窒素実験により、液体窒素につけた花びらが崩れる様子を観察したり、炎色反応による炎の変換を観察したりするなど驚きにあふれた授業で、科学の不思議を学ばせていただいています。6年生には「燃料電池」の仕組みを教えてください。実際に電気を作ったり、作った電気でものを動かしたりする中で、楽しみながら学習をすることができます。

いずれも、普段、学校ではできない「最先端の学び」です。その学習の中で、子どもたちは、既学の学習事項と関連しながら楽しく学びの時間を過ごすことができます。このような多様な経験は子どもたちの豊かな未来に繋がります。いつも幅広い学習の場を提供してくださっていることに感謝しています。今後とも地域に密着した企業として発展していただきたいと思っています。

広島ガスの概要

1909年(明治42年)10月30日に創立。日本のガス事業者としては1872年に開業した横浜瓦斯灯会社から数えて22番目、中国地方では最初のガス事業者となりました。以来、100年以上にわたり地域の皆さまとともに着実に歩み続けてきました。

現在では、広島市を中心に県内6市とその周辺地域の40.8万戸のお客さまに、化石燃料の中で最も環境負荷の小さい天然ガスをお届けしています。

本社所在地／広島市南区皆実町2丁目7-1
TEL 082-251-2151(代表)

創 立／1909年10月

資 本 金／51億8千1百万円

従 業 員 数／676名

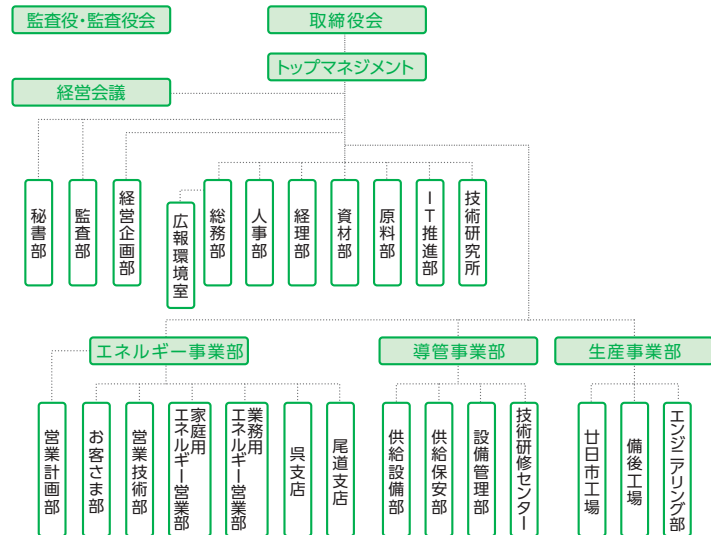
事 業 内 容／① ガス事業
② ガス器具の販売
③ 液化天然ガスの販売
(2016年3月31日現在)



広島ガス 本社

■ 組織図

(2016年4月1日現在)



◎地域のサービス窓口

■ ガスショップ

[ガスショップ 営業時間] 9:00 ~ 19:00(月~土) ※三原店は9:00 ~ 17:30(月~金)

1 ガスショップ 府中店	安芸郡府中町浜田3丁目4-26 TEL 082-282-3359	8 ガスショップ 祇園店	広島市安佐南区西原5丁目13-1 TEL 082-850-3505
2 ガスショップ 安芸店	広島市安芸区船越南3丁目1-14 TEL 082-821-1055	9 ガスショップ 高陽店	広島市安佐北区落合南1丁目3-10 TEL 082-842-4433
3 ガスショップ 宇品店	広島市南区宇品神田2丁目12-19 TEL 082-253-1261	10 ガスショップ 呉店	呉市中央1丁目6-16 TEL 0823-23-5050
4 ガスショップ 五日市店	広島市佐伯区海老園2丁目7-43 TEL 082-922-3670	11 ガスショップ 尾道店	尾道市天満町3-2 TEL 0848-22-4378
5 ガスショップ 古江店	広島市西区古江新町6-4 TEL 082-272-0050	12 ガスショップ 三原店※	三原市城町2丁目7-5 TEL 0848-62-7108
6 ガスショップ タカノ橋店	広島市中区大手町5丁目10-19 TEL 082-243-7520	13 ガスショップ 可部店	広島市安佐北区亀山9丁目13-7 TEL 082-814-3322
7 ガスショップ 白島店	広島市中区東白島町17-17 TEL 082-228-1000	14 ガスショップ 西条店	東広島市西条御条町4-38 TEL 082-493-8801

■ ショールーム

最新ガス機器を体感いただき、
温かなガスのある暮らしへ

体感・展示設備(一例)

- 家庭用燃料電池
(エネファーム)
- 家庭用コージェネレーション
(エコウィル)
- 床暖房・浴室暖房
比較体感ルーム
- ミストサウナ体感ルーム
- ためして! キッチン
(厨房比較)
- 太陽光発電

●ガストピアセンター



【連絡先】広島市中区南竹屋町1-30
TEL.082-240-8888

●ガストピア安芸



【連絡先】広島市安芸区船越南3丁目1-14
TEL.082-821-1130

●ガストピア五日市



【連絡先】広島市佐伯区海老園2丁目7-43
TEL.082-240-8888

●ガストピア呉



【連絡先】呉市中央1丁目6-16
TEL.0823-22-1234

●ガストピア祇園



【連絡先】広島市安佐南区西原5丁目13-1
TEL.082-240-8888

●ガストピアおのみち



【連絡先】尾道市天満町3-2
TEL.0848-22-2104

広島ガスグループの概要

広島ガスグループ(広島ガス、子会社26社および関連会社12社により構成)においては、ガス事業、LPG事業を主として行っています。

ガス事業

- 都市ガスの製造・供給および販売
- 他ガス事業者などへの卸供給
- ガス機器の販売および関連するガス設備工事の施工
- 保安点検業務
- 検針業務・料金回収・電話受付業務
- LNG船運航管理

LPG事業

- LPガスの販売
- LPガス充填業務
- LPガス機器の販売、LPガス配管工事の施工
- 広島ガス供給区域外でのLPガスを原料とした簡易ガス事業

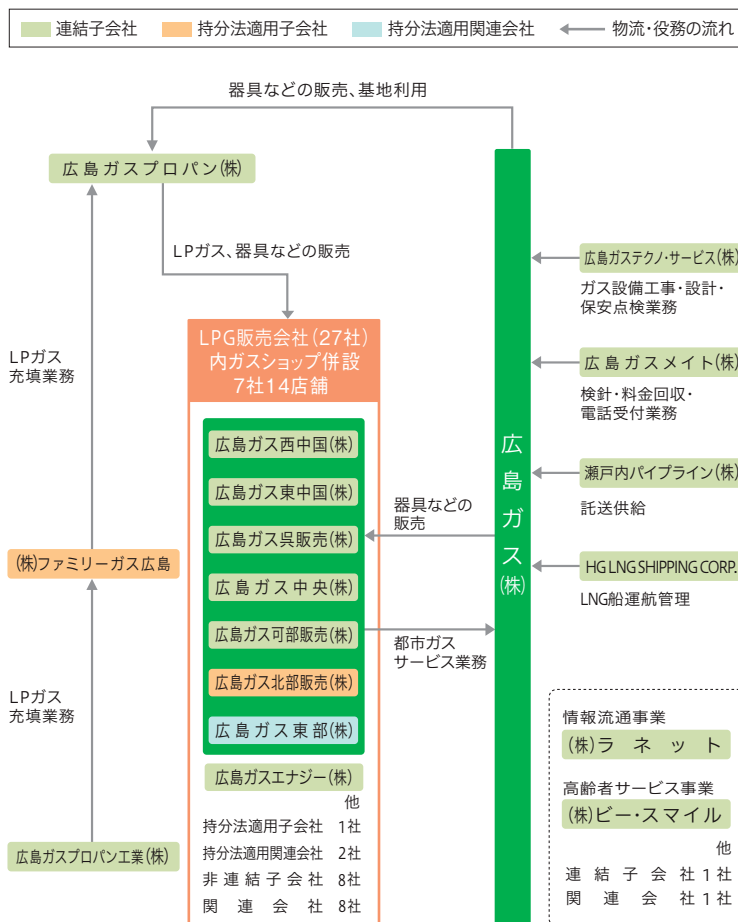
その他

- 管工事を中心とした建設工事
- エンジニアリング事業
- 機械器具設置工事
- 情報流通事業
- 高齢者サービス事業

■ 事業系統図

(2016年3月31日現在)

広島ガス(株)を中心に子会社・関連会社を含めて39社で構成されています。



■ 主要子会社の概要

(2016年3月31日現在)

広島ガスプロパン株式会社
資本金／3億円 設立／1969年3月
売上高／9,972百万円 従業員数／89名

広島ガステクノ・サービス株式会社
資本金／8千万円 設立／1998年6月
売上高／10,272百万円 従業員数／198名

広島ガスメイト株式会社
資本金／2千万円 設立／1975年4月
売上高／1,070百万円 従業員数／157名

株式会社ラネット
資本金／3千万円 設立／2000年10月
売上高／313百万円 従業員数／6名

株式会社ビー・スマイル
資本金／5千万円 設立／2001年6月
売上高／190百万円 従業員数／46名

瀬戸内パイプライン株式会社
資本金／1億5千万円 設立／2003年5月
売上高／1,078百万円 従業員数／9名

HG LNG SHIPPING CORPORATION
資本金／1百万円 設立／2005年2月
売上高／2,382百万円

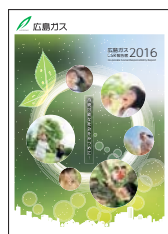


〒734-8555 広島市南区皆実町2丁目7-1
広島ガス株式会社 総務部 広報環境室
☎082-252-3154 (直通)

<http://www.hiroshima-gas.co.jp/>

広島ガスCSR報告書 2016 2016年7月発行

《表紙デザイン》



グリーンティアラ

草原の花で編んだ「花冠」をモチーフにしたデザインです。

自然からいただいた資源を大切に使うことで、再生を促し、持続可能な社会にしていきたいというメッセージを表現しています。



このレポートの印刷する際の電力300kWhは、自然エネルギーでまかなわれています。

UD FONT
見やすいユニバーサルフォントを採用しています。

